昭和十一年七月三十日　（明治卅一年五月六日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報　夕刊　七月二十九日　夕刊定價一部二錢

政府の緩慢さに軍部、不滿を抱く

肅軍人事一段落して庶政一新實現に努力

注目さるる「陸相の態度」

【東京二十九日發】陸軍は肅軍人事も二十八日の內命で一段落を告げたので、來るべきものは陸軍の要望する革新政策の成否にかかつてゐる即ち寺內陸相就任の三大使命たる肅軍、庶政一新、國防充實強化は夫々陸軍の如實な努力であつて、その實は着々と擧げてゐるに反し庶政一新は政府其他と協力しなければならぬだけに政府の緩慢な態度に[illegible]部內に充滿しつつあり、之が空氣は人事異動の完了と共に革新政策の實現に努力すべしとなし寺內陸相の[illegible]政府態度が注目されるに至つてゐる、而して陸軍の主張する國策要綱としては國防、航空、燃料、鐵鋼、肥料などの各項目に亙り、國防國策に就ては勿論之が充實強化を期する外、[illegible]項目に就ては[illegible]民間航空を[illegible]的に[illegible]統制其他と協力して行かんとし、原料資源に就ては萬一の際に必需品の自給自足を確保するため之が絶對確立を期して居り、文教問題は國民思想の確立は勿論之に關聯する體力國策は絶對必要性ありとしてゐる、更に國民生活の安定に就ては論を俟たぬ所であり、陸軍としても之等實現は國防力の人的要素の充實向上の上からも絶對必要であると認めてゐる

國策閣議を復活

三長官の審議は大體終り 首、藏兩相の協議を經て

【東京二十九日發】陸海軍の國防充實計畫を基礎とする各省より提出せる重要國策の下調査を廣田首相より命ぜられた藤沼、大田、吉田の三長官は吉田書記官長を中心に過般來打合せを續け審議を進めて來たが漸く重要工作の項目は
一、國防の充實
一、產業の振興及び貿易の伸張
一、國民生活の安定
の三大綱目に基くことに決定し、この觀點より各提案の審議を遂げ漸く大體の終局に達した、依つて八月一日前後に最後の三長官會議を開き右審議の結果を綜合し取纏めた上吉田書記官長の手許で製作せる三長官の意見書を附し廣田首相に提出して審議、報告を行ふことに決定した依つて右報告を受けた廣田首相は直ちにこれを馬場藏相に提示して改めて兩相間で各省提案の檢討をなし、これに對する財政計畫の根本方針を協議し、重要國策に付き最後の見通しをつけ、八月十日頃の閣議に廣田首相より提案し所謂國策閣議を復活し重要國策決定の段取となつた、[illegible]審議を急速に進捗せしめ得るか否かは極めて疑問視されてゐる、殊に陸海軍の國防充實計畫は十二年計畫で[illegible]二十億圓前後で六年に[illegible]全額と言はれ、海軍の第三次補充計畫は二億五千萬圓と二十億圓で初年度二億圓と傳へられ、この膨大な要求に對し廣田首相は[illegible]これを鵜呑みにするかの如き態度を執りつつあり、之に對しても閣僚間に多大の不滿があるので國策問題の再燃とともに國防費問題を繞り閣內の紛糾が懸念されてゐる

議院制度調査會の初總會（廿七日首相官邸）

國防費問題で閣內紛糾せん

首相の態度に閣僚不滿

【東京二十九日發】廣田首相は前項の如く近く藤沼、大田、吉田三長官の各省提出重要國策下調査の報告を受けこれを機會に重要國策の決定を急ぐ意向であるが、重要國策の決定並に財政計畫の樹立に當つて先決すべき陸海軍の國防費の現狀に就ては未だ全然未着手の現狀にあり、この問題を差置いて他の重要國策を急ぐことは島田藏相を始め閣內に強硬な異論があるので廣田首相の欲するやうに國策の[illegible]

曹汝霖氏 辭表提出

廿八日正式に宋哲元氏宛

【北平二十九日發同盟】冀察政務委員會委員曹汝霖氏は政務委員會委員の辭意を表明してゐたが二十八日正式に宋哲元氏に對し辭表を提出した、宋氏は直ちに之を中央に移牒した

廣東省政府を徹底的に改組

主席に黃慕松氏任命

【上海二十九日發同盟】二十八日の行政院會議は廣東省政府主席林雲陔氏の辭職を認め其の後任に黃慕松氏を任命、同時に各廳長を悉く更迭し廣東省政府の徹底的改組を斷行した、何林雲陔氏は黃慕松氏の後任として蒙藏委員會委員長に、曾養甫氏を劉紀文氏の後任として廣東市長に任命した

寺內陸相西下

寺內陸相は親任奉告並に關西地方軍需工場視察のため秦新聞班長、田中兵器局長代理、小松秘書官同二十八日午前九時東京驛發列車で西下した（寫眞は東京驛にて）

中山兵曹射殺事件

最終公判再延期か

事態は益々惡化せん

【上海二十八日發同盟】中山兵曹射殺事件の最終公判は愈々卅一日開廷し判決を見ることに決定してゐたが共同租界特別法院は國民政府最高法院よりの壓迫を受け又も三十一日の最終公判及び判決を無期延期となし事件を有耶無耶に葬り去らんとする

氣配が濃厚となり我が出先官憲、居留民とともに支那側の不誠意に依る事態の惡化を極めて重大視してゐる、卽ち最近西南問題の解決に成功するや國民政府は對日諸問題に累然強硬態度を示し去る二十日行はれる豫定の判決を延期したのは國民政府より法院長に指令が飛んだ爲であつた事の確證あり更に[illegible]生事件以來犯人

捜査に名を藉り警官隊を增加し武裝兵を多數入れるなど明かに停戰協定無視の行動に出てゐるので三十一日公判再延期されんか我が當局も默視せずと決意してゐるから日支關係は更に事態の惡化を來すこととならう

大田駐露大使 モスクワ出發

【モスクワ二十八日發同盟】大田駐露大使は二十八日夫人同伴モスクワ發歸朝の途に就いた

卅日か卅一日に首都へ入城する

そして軍事獨裁政權を樹立

モラ將軍意氣軒昂

【ブルゴス二十八日發同盟】革命北軍總司令官モラ將軍は目下ブルゴスの革命軍根據地に進出し前線部隊を督勵して首都マドリッドの奪取に作戰を凝らしてゐるが、二十八日多忙の裡を特に記者と會見し次の如く確信を披瀝した

革命北軍は連戰連勝、いよいよ三十日若くは三十一日を期して首都マドリッド入城を實現する手答である、マドリッド克服の上は強力な軍事獨裁政權を樹立し何れの歐洲大國にも匹敵すべき大軍を備へて實力政治を行ふ計劃である、國內の社會主義、共產主義的團體を解散することは勿論である、但し飽くまで共和政體を維持する考へで復辟の如きは問題にならない

捕虜は銃殺

陸相が命令

【マドリッド二十八日發同盟】スペイン新政府の陸相に就任したラ・ミオナリア氏は二十八日叛軍捕虜は悉く銃殺すべしと命令した、同ラ新陸相は左の如く語つた
捕虜共は餘り飯を食ひ過ぎる、政府軍が食料不足の際彼等を養ふのは意味がない

死者三百

バルセロナの激戰で

【マドリッド二十八日發同盟】バルセロナにおける政府軍と革命軍の猛烈な市街戰の結果二十八日までに判明せる犧牲者は戰死三百七十、負傷百と註せらる

その日その日

○國防の充實、產業の振興、國民生活の安定——この三つが三長官採擇の國策と決定したさうな
○さうさう、さう言へば、そんな事がどこかの初等政治讀本に書いてありましたね—
○人事更迭の掛聲や前觸れは人心に不安の氣分を殘る以外に殆ど無益、下馬評時代でもあるまい
○政務官設定の音には言はぬが、人事決定の不手際も、所謂、內輪の醜態を物語るものであらう
○中山兵曹事件一つ形附けぬ、歐米の威をかりたつもりの支那の醜態振り、苦々し
○國家が、法令で定めた從軍に洩れた兩親が殉職者への感謝と慰問に今日まで缺けたる所はなかつたか
○「副」と「主」が既に轉倒して萬國博覽會の副產物時代は今や世界の振興となりつつある
○とまれ科學者の新研究が、珍らされて居た天物の利用範圍を擴大して行くさま、眞に心強い限り
○米の出廻り期、配給不足の[illegible]
○全く無駄のない[illegible]、天惠[illegible]の至寶の一つと言へやう

人事

▲勝田永吉氏　代議士、臺灣合同鳳梨社長　二十八日夜行にて南部へ
▲文前郁次郎氏　高島米穀取引所理事　二十九日臺中へ、八月三日臺北へ
▲宮崎年春氏（臺灣合同鳳梨東京支店長）　二十九日再び南部へ

無絃琴

全國で唯一つの市營洗濯業を經營して居る兵庫市の古澤市長曰く「この洗濯市營事業は約一萬圓の資金で昭和七年から開始されたが、結果は同九年度までに赤字で十年度になつて漸く二千圓そこらの黑字になつた▲從つてこの仕事は積極的には無駄でないが、之が爲め市一般の洗濯料金も三、四割方安値になつた事と、好く洗濯されることとで市民の爲めには誠に結構なことと云はれて居る、例へばドライクリーニングなども民間業者が揮發油を使つてゐるのとは違つて市の方は、ガソリンの[illegible]

歐洲に二つの陣營

平和會議開催の氣運

ロカルノ條約國會議は廿三日英、佛、白三國間に於てロンドンで再開された、イギリスとしては獨伊兩國の態度と獨墺協定の成立に依つて歐洲の安全問題が一變したこと、イタリーがロカルノ會議に參加を拒絕したこと、それに又ドイツの對英回答未着等を擧げ、假令英、佛、白三國間で會議を開催してもその目的を達し得ないのみか尚早尚早、準備不充分の爲に徒らに失敗を暴露する様なことがあつては寧ろ面白くない結果を招くであらうと云ふ理由で會議の開催は一時延期した方がよいとの意見を持し佛、白兩國に之を提言した處、フランスとしては會議延期は不贊成である、三國だけでも兎も角開催すべきだと主張した結果遂にイギリスも之に同意しロンドン會議開催に決定を見るに至つた譯である

◇

但し[illegible]ロカルノ會議は[illegible]數回延期された會議とはその性質において多分の相違があることが注意される點は今回の會議に於ては
一、獨伊兩國政府を如何なる條件如何なる方法の下にロカルノ會議に招請するか
一、ロカルノ新條約の締結
一、歐洲政局の全面的處理案
等の檢討が期待されるからである、[illegible]ロカルノ新條約の締結、歐洲政局の全面的處理案の[illegible]に至つたことはドイツのライン出兵イタリーのエチオピア併合、[illegible]の無力等の歐洲情勢の變態から最早從來の[illegible]ロカルノ條約では[illegible]ことが各國間に遅まき乍ら明白になつて來たからであつて、又一面此の情勢は多分にイタリー政府の
一、現在の歐洲政局を打開するに當つては徒らにロカルノ體制の機能を復活させる樣努力しても無駄であつて關係各國が全く新な立場に立つて何物かを建設する意氣込みが必要である
一、此の見地から國際會議を開催し英、佛、白、獨、伊五ケ國政府が平和の立場から歐洲政局の全面的處理案を檢討すべきだ
と云ふ態度にヒキズられて生れて出て來た事も忘れられぬ事實である、既に今次のロカルノ會議に次いで九月上旬獨伊を加へた五ケ國會議がブラッセルで開かれる[illegible]みに止まらず範圍を出來る丈け擴大して第二の平和會議に相當する大會議を開催する氣運がイギリス方面にも有力となつて來た

◇

然し乍ら歐洲は今や英佛を中心とする現狀維持派と獨伊を中心とする現狀打破派の二つの陣營に截然と區分されてゐる、たとへ平和會議の開催となつたとて此相反する兩者がこんなウマく[illegible]する事が望めるであらうか、もとより今日を以つて[illegible]を[illegible]し得る歐洲政局ではあるが少くとも[illegible]【同盟新聞】

戀愛市場（60）

松波治郎作　宮田彌太朗畫

賣嬌爭（七）

[illegible]大陸一般市民からは[illegible]と思つてる」▲市の公營業が各所で檢討されてゐる折柄、此事業も[illegible]の參考にはなるだらう。

勢子は、風間を顧へて、「おい、しづ枝さん、へん、いやに處女ぶつて何だい、え、お前さんは處女でも、お前さんの姉さんは處女ぢやないし、お前さんのお母さんだつて處女ぢやあるめえ、へん、威張りなさんな」
と云ふかと思ふと、「面白い顔を！」と、顔を、しづ枝につきつけた。
「こりや、女ギャングだね」
相川は、流石に、にこにこ笑つて居た。
つまり勢子が、かう怒鳴つて居るのは[illegible]席へ、それも、しづ枝が食つついたやうに來て居るので、一座の新顔も頼かせて、ちやくちやくと[illegible]つて來たのである。
「こりや相川氏、酒がないぢやないか、けちけちするない！しづ枝君に酒とりにやれ、のう相川氏」[illegible]
「おいおい、さう喚ばれては、[illegible]」
「そんな馬鹿な事があるかい、此の店へ僕が來れなくなるんだよ」
「のう水木先生、何だつて默つてるんだい」

と云ふのは、相川の番には、よく滿代が出たのである
しかし、滿代は勢子とは性格が反對だつた。おつとりした、靜かな女性で、醉た客に、無理に手を引つ張られることなどは、別に顔には出さなくても嫌ひだつた。
水木に
「あたし、かう云ふ處、不向きよ姉さんが勸めるので出てみたけど姉さんの生活もいやだわ、何處か行きたい」
と云つた。
「では、姉さんの派手な生活が、いやなのかい」
「いーえ、姉さん、派手ぢやではないわ、そりや朗かくて、けちで、こんな處に居る人達の裏と表が、いやになるの、他の職業の方が、どんなに落ついて派手かも知れないわ」
との遣取をした事がある。しかし、勢子は、その性格から此の妹の滿代の為に[illegible]しい。ただ、滿代が大切にして居た客を、しづ枝に奪はれたとのみ解釋して、同じ店で、二組の姉妹が働いて居る[illegible]
と、水木に姿見つてかかる醜態だつた。
しづ枝は、とうとう泣き出してしまつた。
「姉さん、呼んでくるわ」
袂で眼を抑へて云つて、小走りに去ると、
「醜態だ」
相川は怒鳴つた。
やがて 悪雲子が、やつて來て
しばし 勢子と、睨み合つたのと、立つたのとで睨み合ひになつた。
しづ枝が勘定書きを持つて來ると、勢子が引つたくるやうにして相川に渡し、相川は すぐ勘定して別にチップに五圓札を出した。
勘定を勢子がしづ枝に渡すと、しづ枝と共に、悪雲子も云つた。
と、勢子は
「こんなものやるにや及ばねえ」
と、相川の出した五圓札を、相川のポケットへ押し込んでしまつた。
「え、醜さんですつて！」
醜顔が不意に顔を出すと、さう二人は立ち上つた。
[illegible]

胃腸の強健化
健胃固腸丸（けんいこちやうがん）
本劑の常備こそ適藥合理の最良策
定價 .20 .30 .50 1.00 2.00 3.00 5.00 10.00
ニセモノ御注意を乞ふ
本舖 大阪 谷回春堂

愈々暑くなります

鶴マークの如くテカテカと暑苦しく光らず、品よく付いた上品さ!!
夏に旅行に手口で便利です
夏の整髮は新品丹頂に限ります

整髮はポマード時代より丹頂時代へ!!

カンカン帽も結構です……が特にお奨めしたきは涼しい丹頂チックの整髮美感デス。これに金鶴香水の香りを併用せば涼味將に百パーセント

丹頂チック 各 .30 .50 1.20
金鶴香水 各 .30 .50 1.20 2.00

代表部から母國へ 喜びを中繼放送
JOAKでは三十日の夜は徹夜して吉報を待つ

"東京"と決定の場合

【東京二十九日發本社特電】東京かヘルシンキか第十二回オリムピック開催地決定は愈々一日に迫つたが東京になれば此の重大任務を背負つて活躍した現代表部の故國への喜びの呼びかけを聞かすべく放送協會では日本開催と決定した場合は三十一日午前六時三十分より七時迄若しそれまでに未決の場合は同日午後十一時から十二時の間にベルリンよりの中繼放送を行ひオリムピック日本代表部の嘉納翁又は副島伯の母國への挨拶を放送する事に決定三十日夜は特にAKには係員が宿直して吉報を待つ事となつた

臺灣でも 中繼

次回オリムピック開催地は東京かヘルシンキかロンドンか決定する會合は三十、三十一日の兩日行はれるが現代表部は別項の如く東京に決定すればベルリンから放送全國に中繼することになつたので臺灣放送局でも三十一日午前五時半から同六時半までと三十一日午後十時から十一時、この間に全島に中繼放送することになつた。從つてベルリンからの東京案内の放送はその何れかの時間に聽取することが出來るわけである

オリムピック委員會 愈よ今夜開會式
五十餘名の委員出席

【ベルリン二十九日發同盟】東京か、ロンドンか、ヘルシンキか次回オリムピック大會の開催を決定すべき國際オリムピック委員會は愈々二十九日午後四時(臺灣時刻は二十九日午後十一時)からベルリン大學内ウイルヘルム・ブリードリッヒ大講堂で開會式を擧行し同に開始されることとなつた、委員長ラツール伯をはじめわが副島嘉納兩氏以下各國委員五十名出席定刻先づヘス無任所相のヒトラー大總統歡迎の辭代讀に始まりリツベルト名譽市長その他の歡迎の辭あつて式を終る豫定で式場の準備は既に萬端整ひ一方會議は三十、三十一兩日午前午後に亙つてホテル・アドロンの際の間で行はれるのでこの方の準備も成りその時を待つばかりとなつた

冬季大會招致に 突如カナダ乘出す
英の老猾な策戰か

【ヴアンクーバー二十八日發同盟】フィンランド二國間の激烈な爭奪戰の中にいよいよ三十日最後の決定を迎へることになつたがこの秋に當つて從來飽くまで日本支持を表明してゐたカナダが突如二十八日第十二回大會の冬季競技をカナダに招致することに決して昨二十九日國際オリムピック委員會に提出した、カナダのこの突然の冬季競技招待運動の眞因は不明であるが日本と國際的な關係を展げてゐる英本國がたとへ次回大會を援待したとしても冬季競技の開催不可能なる點を思へば或は冬季競技大會開催地をカナダに讓り夏季大會の英本國招待に讓渡せしむるといふ英本國、自治領轉を並べての老猾な英國の策戰ではないかと憶測さる

全島傳書鳩競翔大會 けふ賞品授與式擧行

去る七月七日本社主催で擧行された第二回全島傳書鳩南北部競翔大會の賞品授與式は二十九日午前十一時から與川軍司令官代理荻洲參謀長、上村高級參謀、北島參謀、田川中佐等列席の下に軍司令部前庭で擧行された、先づ會長本社伊藤常務取締役の開會の辭、主催者側を代表して長谷本社支配人の挨拶あり、續いて賞品授與が行はれ十一時半式を終つた、受賞者左の如し

軍司令官カップ鷹尾樹、一等賞飯田美、三等賞陳宗榮

寫眞(上)荻洲參謀長より軍司令官カップを授與(下)長谷本社支配人より賞品授與

海上警報

臺北觀測所では廿九日午前九時三十分次の如く海上警報を發した

七四六粍の稍優勢な颱風は北緯一七度東經一二四度即ちマニラの北東四五〇粁の海上にあり時速二〇粁にて北西に進み次第に發達する見込、本島南部海上は北東の風强く荒模様となる見込であるから同方面の小型船舶漁船等は警戒を要す

總停船の一歩前で 待遇改善問題解決す
新組合と船主側の妥協成る

【神戸二十九日發本社特電】新日本海員組合提出の待遇改善問題は兵庫縣當局が懸命の調停を行ひ新組合、船主協會側代表と膝詰折衝を續け而も一觸即發危機を孕んで正に總停船の一歩前で二十九日午前零時半雙方の妥協成り圓滿解決した、即ち

△退職手當制の確立年内に實施

△最低月額增額の件は海事共同會で決定、實施の内容は調停委員會の決定内容とす

△遭難手當の件は將來各委員に於て研究する

等要求條項に對して船主側が極めて誠意を披瀝したもので新組合側も之に滿足、急轉直下勞資の安協成つたもので各地に自發的の係船十三隻を見たが圓滿解決の無事即日明朗性を取り戻した

若松、門司でも戰線を解く

【福岡二十九日發本社特電】二十九日午前零時を最後の時刻として臨む緊張裡に若松門司の兩新海員組合では各組合員つめかけ神戸本部の入電をまち受けたが一時に至るも入電なく大阪始め各地の情報は形勢惡化を傳へ一同悲壯な決意を固めた折柄午前二時に至り本部から圓滿解決の電報あり一同萬歳を叫び、歡呼の裡に戰線を解いた

織殿丸解決を知り基隆出港

【基隆電話】辰馬汽船織殿丸は二十八日夕刻出港豫定の所荷役の關係上に豫定を變更した爲め同夜は天長丸と二隻が新日本海員組合よりのゼネスト指令を待ち備へてゐたが二十九日午前一時を過ぎても遂に指令は來なかつた、斯くて同船は二十九日朝六時半大阪向け拔錨さすために動き出さんとした時突然新組合三池支部から交渉の電報あり故に同船は防波堤外の外港に赴き一時係船情報を知る爲め司厨長がアタブタと上陸して同組合高雄出張所に問合せを發した後一時間經つた同七時半何事もなく出港した、尚二十九日朝には入れ代つて辰馬汽船桐栄丸入港、在港中の天長丸と合せて基隆には未だ二隻の汽船が殘つてゐる譯である

各婦人團體が 海軍さんを歡待
心づくしの接待決る

第二艦隊は三十一日基隆に入港するが愛國婦人會本部を始め臺北市内各婦人團體は婦人團體聯盟の一端として乘組員の市内見學につき種々の便宜を計ると共にその接待に萬全を期すべく種々準備中であるが愛國婦人會本部では評議員、月例會員、處女會員、愛國婦人會、須美寮愛國子女團員等約四百名を動員して本部樓上、臺北市公會堂、元協賛會事務所等を開放しオンライ、バナナ冷紅茶、シロップ等を接待し湯殿を急造し風呂桶二つを設備し何時でも汗を流す事が出來る様になつてゐる

また警察局より寄贈された一萬八千本の煙草、切手つきの繪葉書等をも贈呈する筈で八月三日には役員有志を募つて基隆に軍艦を見學する豫定である　三十一日から四日間の接待には白襷にエプロン、愛國子女團は團名入りの白襷をかける筈で、ここにも華々しい非常時風景が見られる事であらう、この外市内西門婦人會は青年團と合同して愛察、バナナ、水、市内

新起町 佛教婦人會は臨濟寺本堂を開放して佛教女子青年團員と共に接待をなす事になつてゐる

強豪揃ひの 明大劍道部が來臺
二日臺北聯合團と試合

明治大學劍道部員は夏季休暇を利用し八月一日基隆入港の富士丸で來臺することになつた斯界の第一人者たる中山博道師範以下部員は十五名である。一行は同日着北後直ちに武徳殿に參拜し二日午後一時から武徳殿に於て臺北聯友聯合團選士と試合を行ふ豫定である明大は學生劍道界の試合巧者であり臺北に今般の粒揃ひで今から好試合を豫期されてゐる

メンバー左の通り

明大　鋼木主將、[illegible]

横領罪として 施乾・起訴に決す
他の三名は起訴猶豫

愛愛寮施乾外三名に先程勾留期間滿了で一時釋放されたが其後御下賜金問題につき北川檢察官が鋭意取調べの結果二十七日施乾一人を横領罪として起訴する事に決定他の三名は起訴猶豫となつた

臺北第二高女の同窓會　臺北第二高等女學校では八月二日午前十時から同校講堂に於て同窓會總會を開催するが會員多數の出席を希望すると

少年團實習所を開設
一日から竹子湖で

少年團の幹部養成機關として臺灣で初めて開設される臺灣地方實習所大屯道場は所長に本部の三島遣陽子爵を迎へ愈々一日から一週間

喜多氏より來電

喜多町大每支局長より二十九日次の電報が屆いた

葬儀に際し御懇情を深謝す、貴紙を通じ各位へよろしく

國防義會航空部に寄附　航空國策の時代に相應しく最近國防義會航空部に寄附する奇篤の士が輩出したが數日前にも臺北市朱厝崙公學校訓導年袁信來氏が香典返しとして十五圓を航空部に寄附した

メガホン塔

▲吾等の水兵さんに對して暴利を貪る不正行商人を市民は嚴重に監視しませう(一市民)▲國民氣質の覺醒へ一致協力しませう

▲[illegible]

あすの天氣

（臺北測候所發表）

臺北地方　南東の微風晴後曇雨

北部一圓　南東の微風晴後曇雨

東部一圓　南東の微風曇後晴雨

西部一圓　北の微風晴後曇雨

南部一圓　南東の弱風晴後曇雨

概況（二十九日）七六〇粍の高氣壓は小笠原島東方洋上に留し七四六粍の颱風は北緯一七度

デ杯は又も 英の手に輝く

【ウインブルドン廿八日發同盟】デ杯戰本國卓越戰最終日は二十八日シングル二試合を擧行、第一試合で濠洲のクイストが英のオースチンを一蹴し一對二の同點に漕ぎつけ俄然デ杯の歸趨に異常な興味を呼んだが第二試合で英のペリーが濠洲のクロフォードを簡單に破り茲にデ杯は再び英國に留まり連續四年の榮冠は燦然と英に輝くに至つた

クイスト（濠）六―四、三―六、七―五、六―二　オースチン（英）

ペリー（英）六―二、六―三、六―三　クロフォード（濠）

故森直吉氏葬儀

【高雄電話】故森直吉氏の葬儀は二十八日午後二時より田町の自宅に於て執行、故人の生前の德望を偲仰する參列者無慮一千餘名を算し近來稀有の盛儀であつた、數百の弔旗及び花環その他の供物を以て埋められた式場に遺族及び松本同社長以下社員一同を始め市内官民多數參列して香煙縷々と立ちこむる中に各宗派僧侶の讀經、松尾市尹を始め各方面の弔辭朗讀、消防組員の弔吹、内遙各方面より寄せられた弔電二百數十通の披露、遺族及び參列者の燒香あつて同三時半閉式した

臺北竹子湖竹林に於て聯盟本部と臺北市聯合少年團の共同主催で開所される事になつたが同實習所開設の報が一度傳はるや全島少年團幹部間に多大の反響を呼び參加者殺到し臺北州下より二十一名、全島各州より十七名合計四十八名の幹部を集めた

因みに所長三島子爵は二十日着北直ちに臺灣神社に參拜、同日夕方總督官邸に於ける招宴に臨み翌二十一日午前中各官衙訪問挨拶を爲し午後實習所現地に於て所員全部と打合せを行ひ一日より實習所の指導に當る事になつてゐる

潮汐（三十日）

基隆（滿潮 後三・四〇／前九・二五、干潮 後一〇・四五／前三・五〇）

淡水（滿潮 前七・四〇／後九・〇〇、干潮 前一・〇〇／後二・〇五）

東經一二四度即ちマニラの北東四五〇粁の海上にあり北西に進み次第に發達する見込、本島は北部が南部は一般に深南部海上は北東の疾風發浪稍々高く北部海上は南東の和風晴天上は晴であります

各地温度（七月廿九日午前十時）

恒春	三〇・七	臺中	三一・三
臺東	三二・三	臺北	三四・〇
高雄	三〇・七	基隆	三二・九
臺南	三二・八	那覇	二九・九
澎湖	二九・九	鹿兒島	三二・八
阿里山	一九・六	長崎	三〇・三
花蓮港	三一・八	石垣島	三〇・二

次の夕刊小說
『御殿女中』
邦枝完二作　神保朋世畫

吉川英治氏の「處女爺師」は愈々數日を經て完了いたします。次の夕刊小說はいよいよ近く大團圓を告げますので、引續き現文壇の寵兒、邦枝完二氏の力作「御殿女中」を掲載します。氏は江戸情緒もの最も得意とする作家、ここに多年蘊蓄の題材を選び來つて、七彩絢爛眼を奪ふ大奥の物語を展開しようと云ふのです。挿繪は浮世繪風の纖細華麗な筆を揮はれる神保朋世畫伯、邦枝・神保の名コンビによる豪華無比の愛欲繪卷、讀者の日を切に御期待下さい

邦枝完二氏　神保朋世氏

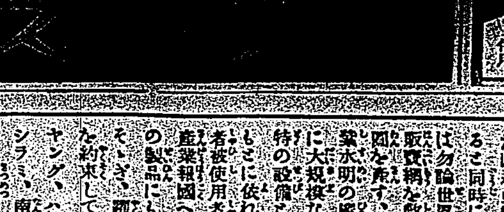
作者の言葉
邦枝完二

お前は何が最も得意かと訊かれれば、わたしはやはり「江戸時代の世話物」を描くことが多少得意でもあり、同時に愉快に筆を進められる」と答へるに躊躇しません。それはわたしが趣先からの所謂江戸つ子であるに因るのでせうか、また一つには徳川幕府が政治を執つてゐた江戸といふ土地に、實に様々な小說以上の奇しき事實が存在してゐたかためであります。殊に世間から謎の生活とされてゐた大奥の女中達、即ち御殿女中が如何なる暮しをしてゐたかといふことは、正に昭和の今日に於てもその日その日を送つてゐたかといふことは、

立派な一つの謎となつてゐて、讀者諸氏の興味心をそそらずには置かぬであらうと思ひます。……今回執筆する「御殿女中」は、彼女等の情痴と秘密生活の全部を忌憚なく暴き出して、江戸の大奥と町方の風俗とを十分描いて見る考へです。幸に御愛讀の程を。

挿繪について
神保朋世

完二先生の絢爛たくひなき作品に、どれだけ添つてゆかれるか、全身を打ちこんで勉強するつもりです。風俗をかまはず文化文政の、江戸文化爛熟に溯りて、思ふさま江戸時代の情緒を描いて見たいものと、大いに樂しみにしてをります。（挿繪は御殿女中）



生徒募集

活動寫眞用設備完全 晝間夜間 八月十六日開始 毎月十日開始

公認 東洋自動車講習所

臺北市蓬萊町參貳壹番地（…）

（規則書要郵券…）

會葬御禮　郭廷俊　郭幼柏

ミツワ人參錠 で若返らうよ 元氣に成らうよ

ビクター 兒童レコード

・大衆童謠・ 朝顔・電車ごっこ・富士山・影法師

・童話劇・ 輝く御旗・少年戰男兵・ 水泳日本・愛國行進曲

・童話劇・ 豚豚裁判 ワンワン・コドモ・クラブ

各二枚一組 一円五十錢

イマヅ 芳香油

南京虫退治と、便所ぐさみ止

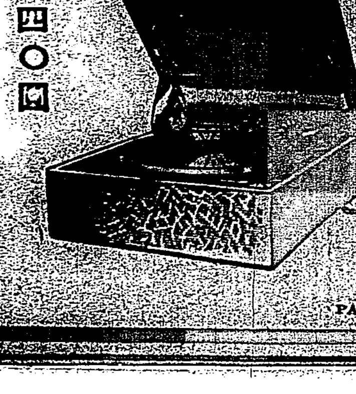
芳香を發し臭氣を止む　南京虫退治家ダニ退治取粉と併用

立体的再生音の強味！

輕量ポータブルで而も寶演そのままの音質です

新發賣 P―一第百二十五號 金四〇圓

今までの輕量ポータブルの最大缺陷は音質の粗惡と立體照の缺如とにあつた本機はサウンドボックスの大改良と半道の發明とに依て完全にこの缺陷を補足しました試みに本器をお聽き下さい從來の輕量手提型に聞くことの出來ない立體感と實演そのままの音質とが御滿足を與へるでせう



PARAGON

パラゴン

PA―⑩

齒痛頭痛はカオガンに限る

黑髮を清く美しくする

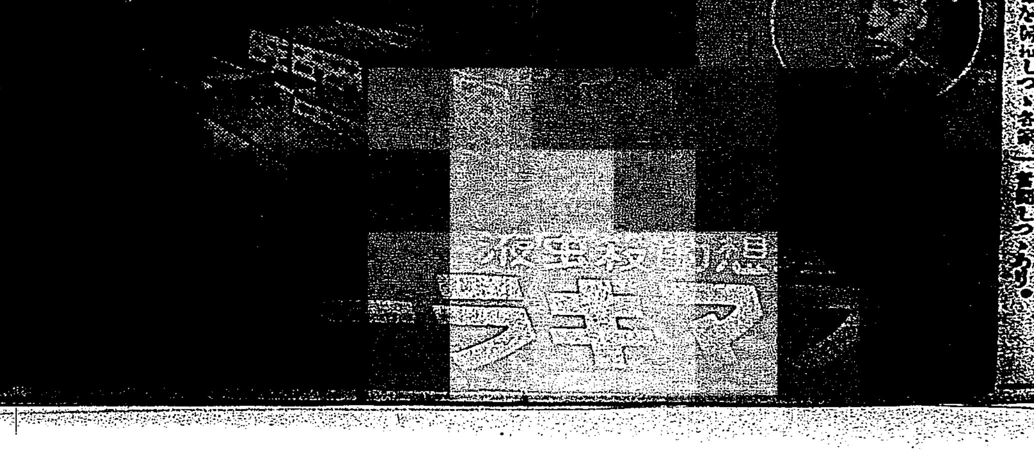
伊豆椿ポマード

液体殺虫劑の始祖 フマキラーの聲價
需要期に入り躍進又躍進

液体殺虫劑最古の歴史と最新の設備をほこり江湖の需要愛用者より風の如き賞讃裡に迎へられつゝあるフマキラー發明者大下大藏氏は何人も着眼せざりし液体の殺虫劑完成に着目し全力を擧げて日夜研究に精進し十數年前遂に其の目的を達し今日の液体殺虫劑フマキラー生る。

しかして年々益々品質の向上に邁進し、世界最高の地位に上る。四年前氏たまく世界週遊中各國に於てフマキラーを加へて世界的殺虫劑十三種の公開效力試驗の結果立會者より世界第一の效力折紙を附せられ我が國殺虫劑の輸入を一掃すると同時に現在は日本内地は勿論世界各國に堅實なる販賣網を敷き年產額數百萬圓を產す。工場は風光明媚なる廣島市川上祇園町に大規模な工場を建設、獨特の設備と一大家族主義のもとに依れる從業者、使用者被使用者も一丸となつて產業報國への不退轉、一本の製品にも粒々たる心血をそゝぎ、躍進日本への健康を約束して君臨す。夏のギヤング、ハイ、カ、ノミ、シラミ、南京虫、ダニを完全に殺滅し加之に都市たる…

芳香は室内香水の一種として安息と淨化の至るところ又新生命を吹込しつゝ各家庭に愛用されつゝあり。



（寫眞は工場全景及フマキラー發見者大下大藏氏）

紙衣祖師（169）

吉川英治作　山村耕花畫

東國篇

河田の平大（二）

楊柳のみどりを煙らして、春の陽が照りつけてゐた。

廣い町屋の庭には、何百ともしらず多くの者が汗にまみれてゐた。その職工の中で働いてゐる者は、たいがい兒飼を求めずに、自分たちの家事や職仕事の暇を見ては、中途でも一刻でもと、奉仕の勞働に來てゐる人々だつた。

一念稱命の
皆ひとつ念
念佛稱名の水をかけ
蹟行　艫の
車をとり——

親鸞が河田で作つた田植の歌は、ここの汗の中でも唄はれてゐた。

二丈あまりの材木が、その人々の數々となかうた汗に引き摺られて、作事場のほうへ曳かれて行くのだつた。

巨材の木口には、かすがいを打つて、綱には、幾本もくくり付けられてゐる。その綱に、三十人餘りの老人や女や童がつかまつて、

「えいやあ、えいやさ」

と、蟻のやうに曳いては、

一念稱名の
唱ふるを——

汗は、その人たちの額に、光りかがやいてゐた。

單に、自分たちの、飢をふさぐ糧や、酒をのむ暇に涎す安價な勞働では得られない、何かしら大きな幸福感につつまれて、彼等は、聲を張りあげてゐた。

すると、一人若い女房が、かひがひしく、着物の裾を端折つて、

「もし、皆さま。どうか私にも、その綱の端なと、つかまらせて下さいまし」

と云ひながら、駈け寄つて來た。

皆は、振向いて、

「やあ、河田のお吉さんか。——又、見つかると思いぞ、止したがいいぜ」

と、遮つた。

年寄りたちも、皆云つた。

「ほんに、お前さんの良い心持ちは不愍ぢやが、見つかると、わしらまで、後で酷らしい目に會はされるでの」

「さうぢや、やめなされ、やめなされ」

お吉は、拜むやうに、さう云つて頼む人たちへ、

「いいえ、今日はもう、洗濯物もすみました。夕飼の支度から、うちの良人のお酒まで買つておいて、何から何まで濟ましておいたので、ちつとも用のない體でございます。罹生でございますから、私にも、御坊様のお手つだひなどといふ事はできませんが、せめて、その綱の端でも持たせて下さいまし……。この通り、拜みまする。たのみまする」

涙さへ浮かべて云ふ。

その氣持にうごかされて、

「では、なるべく早う、家へ歸つて貰らつしやれ」

と人々は、身をはりながら、彼女を綱の中に入れて又、材木を曳いてゐた。

「ありがたうございます」

と、お吉は、心のそこから欣しさうだつた。そして、奉仕の綱にすがつて懸命に、曳いてゐると、その青白く面瘦した頬に、若い娘のやうな紅潮がさして來て、世帯の苦勞も何もかも、その間は忘れてゐるやうに見えた。

「この阿女っ」

不意だつた。

ぐわんと、鼓膜がやぶれる程、お吉の横顏を張りつけて喚いた者がある。

二十七、八の肝んな筋骨を持つてゐる男だつた。職人烏帽子を後へ落し、仕事着の片肌を脱いでゐて、汗の光つてゐる毛穴には、鋸屑がたかつてゐた。

お吉の亭主の平大郎なのである。

「あつ——皆さん」

お吉は、甲に見込まれた小鳥のやうに、よろめきながら、親切な仲間の者のかげにかくれた。

「謝まつて下さいっ、皆さん、良人のひとへ」

と、もう泣き聲だつた。

「うぬ」

と、平大郎は、女房のそばへ寄つて來た。

「性無しめが」

と、平大郎の手が、すばやくお吉の襟がみをつかんでゐた。そして、大地を引きずり廻しながら、

「云つてもくこの阿女は、腕で……もれえ事をしやがつて、おれのいひつけを、何だと思つてゐやがる」

足を上げて、蹴飛ばした。

「すみません！もう決して、ここへは參りません」

「ここばかりぢやねえ、おれの念佛嫌ひを承知のくせに、亭主のいやがる事を、うぬは、故意にするのだつ。さつ、けふはもう勘弁できねえから、さう思へ」

腰帯から鑿を抜いて、右の手にひらめかせた。

「あれつ、助けてつ——」

お吉は逃げ惑つた。

人々も、うろたへて、

「あぶないつ、平大さん、そ、そんな乱暴な事をしないでも」

「何を云やがる」

平大は、眼をつりあげて、自分を遮る者を睨めまはし、

「おれの女房を、おれが折檻するのだ、自體、てめえ達が、奨逆なお手本を出すからよくねえ」

さう云つて、

「やいつ」

と又、お吉の方へ、怖しい形相を向け直して喚くのだつた。

「あれ程、云つても承知しても、また家を留守にしやがつて、こんな所へ來てよくも白々しい真似をしてゐやがるな。……ははア分つた。この雨詩講中に、和介の野郎が仕事に來てゐるので、てめえは、信心に事依せて、和介の顏を見に來やがるのだらう。……いや、さうだ、さうに違ひねえ」

「ま……何をお前さん」

「いいや、てめえが、和介の奴に妙な素振りを見せてゐる事は、おらあ疾うに知つてゐるんだ。——さもなくて、べら棒め、その日暮しの貧乏人が、駄賃も出ねえ夕働きを何でする？」

「……」

「なぜその閑に、亭主の晩の酒代の足しにでもなるやうに、魚でも漁つとか、縄でも綯ふとか、他人仕事の縫物でもするとか、小賃ひの多足になる事を考へねえのだ。——この浮氣者め」

鑿を振りかざしたので、お吉は必死にもがいて、平大郎を突きとばした。

「こいつ！」

一度、よろめいて、膝をつきかけた平大郎は、起ち上つて、女房の襟髪を後からつかんだ。

「歸る、歸る」

そして鑿をふりかざして、お吉を追ふ。

元より、嚇しにすぎまいと人々は思つてゐたが、兇暴になると手のつけられない平大郎の事だし、何か、お吉に對して嫉妬らしいものを含んでゐる樣子なので、周りの者は、何うなる事かと、色を失つてゐた。

「おいつ、兄哥、何をばかな眞似をするのだ、あぶねえぢやねえか」

普請場の方で、この態を見て居て飛んで來た仲間の大工の一人だつた。うしろから平大郎に組みついて、

「離しねえ」

と、鑿を持つてゐる利き腕をねぢあげた——

平大郎は、委ばれ狂つて、

「誰だつ、邪魔するな」

「誰でもねえ、和介だよ」

「なに、和介だと」

「オオ、おめえは何か、おれとお吉さんと、變な事でもあるやうに邪推してゐるつてえ事だが、それぢや、お吉さんがかあいさうだ」

「離せつ、畜生」

「いや、そいつがわからねえうちは、離されえ。なる程、おれはお吉さんの相談相手には成つてやるが、決して色恋の沙汰ぢやねえ。おめえといふ酷平とした亭主のある女——何でおれがそんな莫迦なまねをするものか。よし又、おれにそんな気持があつたつて、貞女のお吉さんが、おめえを裏切るやうな事は、死んだつてある筈はねえ。お吉さんの貞操ただしい事や、亭主に盡しなさる行ひは、この近郷で、誰だつて、感心なものだと云つてゐねえ者はねえんだぜ。それをおめえが、事々に、邪慳にしたり、辛く當るので、お吉さんは、泣き暮してゐる。そこへ持つて來て毎日の稼ぎ以上に、おめえは大酒を食らつてゐるぢやねえか。その酒代をこしらへるのでも、人知れぬ苦勞をしてゐるお吉さんだ。そんな事から、何かとおれの家へも相談に來るので、おれも不愍と思つて、小遣の都合をつけてやつたりしてゐるのに、それを、をかしい方へ氣を廻して、おれとお吉さんとか、妙な仲でもあるやうに云はれちや、おれも、男が立たねえ」

「……痛えつ……おい和介。……痛えぢやねえか、手を離しやがれ」

「わかつたかい、今の話は」

「わ、わかつたよ」

「ぢやあ、お吉さんの今日の事も、おれに免じて、勘弁してくれるだらうな」

「女房の事あ、亭主の一存だ。他人のさしづはいらざる世話ぢやねえか」

「それあ、兄哥の云ふとほりだ。おめえとは、元からの兄弟子、その弟弟子が、小生意氣な眞似をしてすまねえが、これも、どうかして、お吉さんとおめえと、仲よく暮してもらひてえ爲にやつた事。腹を立てないで堪忍してくんな。——それに、ここはただの普請とちがつて、御坊主様の御願所の普請場——しかも勅願までいただく事になつてゐる大事な御道場だ、そんな場所へ、喧嘩を持ちこんで、不淨な血でもたらすやうな事があつたら……」

同じ大工仲間ではあつたが、弟子の和介は氣だてのやさしい男だつた。涙さへ浮かべて、諄々と說いて聞かせたので、さすが兇暴な平大郎も、やや落着いて、

「離せよ、やい。……もう手荒な事はしねえから離せつてえのに」

「ぢやあ、勘弁してくれるか」

「……」

と、云ひすてて、ぷいと、平大郎は普請場の陰へ走つてしまつた。

「さ、お吉さん……はやく家へもどつたがいい」

和介も、他の者も、ほつとしながら、彼女を宥はつて、着物の土など拂つてやつた。

「お上人樣も、いつか仰つしやつた。念佛の功力は、寺へ來ていふからよいといふものぢやない、剃髪して僧侶になつたから、念佛の功力が増すわけでもない。在家の衆も、心さへ、そこにあれば、何處で申さうと、佛の御加護はあるものぢやと……。なう、お吉さん、御亭主が念佛きらひなら、御亭主の眼や耳にふれない限りで云うたがよい。……さ、また晩に、文句をつけられないやうに、早く歸つて酒など買つておかつしやれ」

「ご心配をかけました」

お吉は、悄々とそこから立ち去つた。

河和田の家は、遠くなつた。田の畦や、森の影を、俯向いて——自分の一足々々を見つめながら歩いてゆく。

「ああ、どうして、私はかう？」

つい身の不運が、涙をそそつてくる。歩む足もとへ、涙がこぼれてくる。道の草も枯れるかと思ふ。

——嫁に來た頃は、良人の平大郎も、あんな兇暴な人ではなかつた。信心こそ持たない人だつたが、職人として腕はあるし、氣だてもよい良人だつた。

それが、二人の仲にできた一つぶだねの男の子が、やつと、笑ひ立ち這ひ出したりする可愛い年頃に、ふと病みついてしまつた。——その時又ちやうど、村へ來てゐた修験者が、病氣ならわしにまかせろ、きつと癒してやるといふので、加持祈禱に、夫婦も共に精を打ちこんで、病児の快復を祈つてゐたところ、たうとう死んでしまつた。

それからである——平大郎の気が急に變つてしまつたのは。

「神も、佛も、あるものか。あいつらあ、神とか佛とか、ありもしねえ鼠ツぱちを云ひ觸らして、飯のたねに、食ひ歩く山師だ」

佛壇も、神棚も、平大郎は川へ運んで行つて流してしまつた。

それからといふものは、急に、酒は飲むし、飲めば酒亂になる。そして、仕事はろくにせず、すこし飯錢があれば、博奕、女あひ、喧嘩。手がつけられない人間になつた。

お吉は、良人の氣持を、無理もないと思つて、初めは素直にしてゐたが、元より貧しい職人の世帯である。折にふれて何かいふと、平大郎は、ふた言めには、

「出て行けつ」

であつた。

彼女の體には、生傷がたえなかつた。けれど、今に——今に、眼がさめる日も——

お吉は、貞節を守りとほして來た。何と罵られても、蹴られても、彼女は、心のうちに、森と涙をのんで來た。

それも久しい年月である。いちど壽を同販つた良人は、この頃はでも心までその悪には汚されたやうには思ひたくない。いや……直るどころか、惑々荒んでゆくばかりに見える。

他人の家庭を見ると、お吉はうらやましかつた。誰も皆、生々と楽しげに働いてゐる。又、その人達の生活を見てゐると、嗟くに嗟にも遠くの眞目にある上人の庵室へ通つて、一度になつて、念佛をとなへてゐる事がわかつた。

ふと、彼女の眞つ暗な胸へも——その念佛の一聲が光明のやうに流れ込んで來た。

けれど、良人は、神佛を仇敵のやうに呪つてゐる人である。お吉は、平大郎の眼をぬすんでは、宮村の上人の庵室へ行つて——それも庵室の中へは入らないで——垣の外に佇んで中から洩れる法話の一言半句に耳をすましてゐたのであつた。

臺日歌壇

安成二郎選

基隆　千香子

年毎に人死ぬといふ夏の池に大いなる月上りそめたり

木の葉擦りにほひなつかしそのかみの山の炎火の思ひ出づるも

臺北　しのぶ

霧細く咲き残りたる鷺草の一本白し五月雨の朝

雨晴れてほの明りせる夕庭に白粉の花の折れば悲しけ

冊が來て干して行きたる晒の青梅は匂ひ庭の日向に

窓開けて眠る宵節となりにけり

今宵晴れるは十三夜の月これの世に生きる命の涸かれど嬉しき世を歩み來たりにけり

古の琵琶のあさがる人の戰世を聞ける事を觀めば悲しも

我が行く道は寂しと思へども古人も歎き歩めり

新竹　岸　浪世

戻を嫌く戀りならぬ五指山の頂きに細く上る煙は

頂に至るたひぎて五指山は月空高くそびえたち見ゆ

屏東　小川　彌

物思ふ若きこころに迫りよる雨の音にそぼれかかりけり

ひそやかに雨の降る日はうら淋しわが思ふことはすべてはかなき

皿リーマンの第一課！ 森永のキャンデイストアでは大學出身と雖も先づ第一課は皿洗ひの修業をさせる、皿一枚から會社の業績は一歩前進するものであると同時に皿一枚の洗ひ方にもその人物の程が分るといふのだ、これは森永製菓の庶務課長眞田武氏の話だが、かうした新進の重役課長は則ちこれ「處世讀本」として「現代」八月號に特輯されてゐる

今週の映畫

新興サウンド　續女の友情

三十日より芳乃館

▲吉屋信子が婦人倶樂部に連載して讀者を感激せしめた「女の友情」の映畫化で監督は田中重雄、出演は伏見信子、御影公子、霧立のぼる、伏見直江、池田園子、立松晃、菅井一郎、清水將夫の新興オール・スター・キャスト

▲ものがたり!—

▲蕗子（霧立のぼる）初江（御影公子）の三人はそれぞれ異つた運命の下に生きてゐた、早くから母を亡つた蕗子は賴む父が疑獄事件で檢擧されて狂人になつて以來、醫者となつて腦病院の治療を嫁いでゐた初江は、女學生時代から明るい性質だつた初江は安サラリーマンの塚入健齋（菅井一郎）に嫁いでささやか乍ら幸福な月日を送つてゐた、蕗子は母親の節子から金の爲めの政略的な結婚を強ひられてゐた

▲蕗子の母が強ひの兄村瀬慶之助（立松晃）は商船で一事業を試みたが、失敗して内地へ歸つて來たが、不圖した機縁で蕗子と結婚する、同じ頃に蕗子は實業の息子山縣（清水將夫）との結婚生活に入つたが、貞二郎と愛者時代の縁と以前に淡い關係があつたのだつた

▲蕗子に同情してゐた貞二は彼女に自分に心を傾けたい事を知るや競馬場で兄乃を狙つて蕗子を傷ける、山縣は犯人の自白を聞き笑つて妻の過去を許し、自分の秘密をも打明けて許を乞ふ、妹夫婦の過去を知りから村瀬は意外な種の過去を知り愕然とすると同時に激しく良心をせめる、種は自分の事幸な人生に詫めをつけ淋しく修道院に入つて了ふ

▲この事を知つた初江は眞心こめて村瀬を難詰する「生き乍ら墓場へ這入つた私の友達種さんを返せ あなたは馬鹿者だ」初江の友情は慶之助の心を强く打つた

▲雪の夜修道院を出た種と慶之助の愛情にひしと抱かれた幸福な種があつた

▲同時上映は、[illegible]と併映して時代物ファンの[illegible]化、[illegible]「少年倶樂部」で青少年の血を湧かしめたものだが、[illegible]

名家敗退將棋（十八）

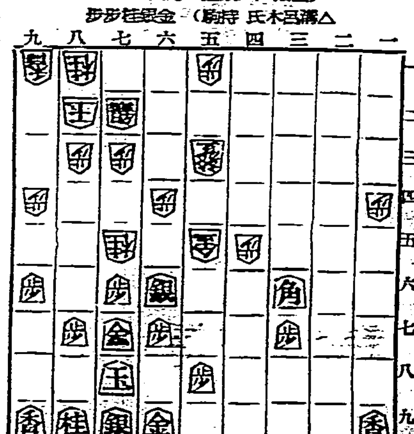
溝呂木氏二回勝二回目

專門家　七段　△溝呂木光治

六段　▲平野信助

（圖は六六銀迄の局面）

△溝呂木氏持駒　金銀桂歩歩



▲平野氏持駒　角歩歩歩

△六六金▲同金△八七桂ナル▲同玉△七四桂▲七八桂△六六桂▲同桂△六五銀▲七五金△六一金▲八四歩

△溝呂木七段曰く　六六金は敵に武器を渡すので辛かつたが止むを得ない所で私に先を利かしめす

△溝呂木七段曰く　六五銀は歩を突いては敵に響かないので手負けとなる敵から四五角と出られる味は實に痛ひでした

▲平野六段曰く　八四歩は攻勢となるかも知れないが一先づ辛抱しないと自玉が堅いので敵が如何ら受けるか觀手を見た

◇大崎八段[illegible]

臺日案内

書籍　常用語辭典

內地土産　パインアップル

桐田の冷西瓜

樂器　山葉オルガン

寫眞　8ミリ

新カメラ特賣

料理屋　辨金本家

愉快な船下り

生そば丼物●丸金

うなぎ

治療所　盲腸の灸

染物洗張

ハッピ一圓

雜件　電話商品券

運命姓名

平戸の揩味噌

玄米精乳と牛乳

蛇油蛇皮蓑虫

軍犬

九官鳥目白

面白き遊戲器械製作所

山本商店

下駄製造用刃物　大工建具用刃物　製材家庭用刃物　其他打刃物類一式　政廣印刃物製作所

なアーる！頭痛に
頭の栄養　はれやかよく効くわい

超強力殺虫液
イチゲキ
蚊、蠅、南京虫
害虫一切一撃で即座に全滅

明治コナミルク（赤罐）
簡便で廉價な國産優良粉乳！
母乳の代用に！お料理に！
明治製菓株式會社

衛生掃除の必需品！

日光印ペン
東洋精工株式會社

一粒のヴイタミン含量從來の肝油五粒に相當　美味　消化
ミツワ肝油ドロップス

會葬御禮　郭廷俊　郭幼珀

伊豆椿ポマード

花月の女將　一日に公判

三長官議重要國策 大體已得結論 且經首藏兩相審議

東京二十九日發。除陸海軍之國防充實計畫外。各省提出重要國策。廣田首相。會議招。永田。吉田三長官。豫爲審查。吉田長官。爲其中心。已爲審查重要工作。三大題目。決定如左。
一、國防充實。
一、國民生活安定。
一、產業振興。及貿易伸張。
由此三題。各省提案。審議已終。已達大體結論。訂來八月一日前後。開最後三長官會議。綜合審議結果。而爲檢定。吉田長官經手。作三長官意見書。提出首相。報告審議。首相直示之爲藏相。兩相之間。再行檢討。協議財政計畫之根本方針。以料重要國策之最後。八月十日頃閣議。由首相提案。以復所謂國策閣議。決定重要國策云。

陸軍異動 不次拔擢 在士氣振作

東京二十八日電。此次陸軍定期異動之範圍。其特色如左。
一、國軍團結強化。特加注意。
二、士氣振作。特返重點比之從前。有三特徵如左
一、重視師團參謀長之候動務。充當優秀適任者。不經新進聯隊長。即拔爲參謀長。
一、不管陸軍大學有無卒業以及學歷等。如係優秀適任者。拔爲參謀本部々員。或陸軍省員。務以革從來之弊風。
一、內外地勤務。均衡留

小公校教員 學術講習 八日開于南師

臺灣教育會主催。訂來八月八日起四日間。在臺南師範。開小公學校教育學術講習會。講習員爲州下小公學校。擔當初等教育者三百名。又講師爲東京女子高師佐佐木教授。及督府岡野技師外二名云。

臺灣神職會 夏期講習 擬開于角板山

臺灣神職會。爲闡明日本精神及祭祀本義。並涵養國體觀念。訂來八月十七日起一週間。在角板山貴賓館。開夏期講習會。講師爲貴族院議員。日本精神總會々長白川資長子及宮內省掌典星野輝興氏。受講者。須備有下記資格。一、臺灣神職會々員。一、中等學校初等學校之教職員。或判任官待遇以上之官公吏。依地方長官之推薦者。一、從事于社會教化。依地方長官推薦。一、前記以外。臺灣神職會々長。認定爲適當者等云。

歐洲時局惡化 船株急昂

二十七日株式大混戰後。二十八日日產新東。有整理的買賣。而新規出動者少。取組不進。日產食利低落爲先驅。日產系諸株一齊食利轉落。新鐘拂入無甚期待。全無活氣。電力株因國策不安。更自跌落。日產食利轉賣之人。以日魯向廉買之。此株爲將來有興味之投機株。買氣緩頓。要之。現值新東代用之投機株物色時代。電力株低落之外。有循環的買氣。大引時船株復因歐洲時局惡化等。郵船起三圓爲六十六圓臺。商船起至五十四圓內外。

兩代議士 訪問長官

去二十七日渡臺之太田。八角兩代議士。于二十八日午前十時。在總督府。訪問平塚長官。而在長官室。與小濱內務。田端警務。嶋田財務。深川文敎局長。會談約三十分鐘。然後于梅屋敷臨席保田臺銀頭取招宴。

船車不足滯貨驟增 中部米難配出 倉庫外約堆積七萬袋

中部地方米穀。現正盛出。去二十八日。爲授受期。且米價擬高。故盛行配出。遂至貨車不足。成停止作業。或中止檢查等。以圖緩和。在鐵道部當局。亦增發臨時貨車。努力配載。據臺中米穀業組合所接情報。謂不但貨車缺乏。且船亦不足。即各配出港倉庫。已超過收容力。約六七萬袋。垂積在倉庫外。現全滯貨。約達二十七萬袋。故當事者。咸望從速增加船車云。

七星郡役所 訓示傳達

七星郡。于二十八日午前九時。在郡會議室。對郡下街庄長。學校長。警察課員。庶務職員約八十名。由河合郡守。傳達前地方官會議時總督及長官訓示趣旨。而就事務刷新。日本精神作興。無忌憚交換意見。至正午散會。

蕉價續落 跌至二圓臺

據神戶飛行訊。稱臺灣芭蕉貨。受內地果物盛出壓迫。價續暴落。二十五日入港高千穗丸高雄丸兩船所載芭蕉。神戶大阪平均價俱至二圓臺。高雄蕉之賤者。一籠僅八十錢。神戶市場。臺中。臺南。高雄蕉總平均二圓五十二錢。大阪市場總平均二圓九十六錢云。

佳里商工會 店頭裝飾 競技入賞

佳里街商工會。前乘北門神社祭典之機。欲圖促進店頭美化。並商品充實起見。主催店頭裝飾並陳列競技會。前由審查員。酒井。周樽。吳乃占。高文瑞數氏。審查結果。左記諸店入賞。由商工會獎以賞品。而此回之競技。各商店。莫不竭誠。從事裝飾。大收效果。
一等 永茂美商店(吳服雜貨)
二等 三瀛商店(洋品店)
同 全順興商店(洋品店)
三等 北門商店(酒煙雜貨)
同 西河時計店
同 恒盛商店(餅商)
同 寶樹時計店
同 江夏商店(錢部洋品)

二林信役員會

北斗郡下。二林信用販賣購買利用組合。昭和十一年度第三回役員會。去二十七日。午前十一時。開於組合事務所。當日役員中監事洪挑氏。以事缺席。其餘全部出席。臨席官郡須郡守。中野郡屬等。一同著席後。由組合長林爐氏。起述開會敘禮。後就議長席。就下記六條議案審議。即一、昭和十一年第一回蓬萊籾及在來籾等級查定方法決定之件。二、對當務理事陳勵氏辭任後任者互選之件。三、事業部勤務理事及沙出張所勤務理事互選並其手當支給決定之件。四、籾寄託獎勵方針決定之件。五、於作業期間宿直料增額之件。六、役職員所有籾寄託數量決定之件。就中第三條籾寄託獎勵方針決定之件有一部修正。餘皆照原案可決。至同午後一時十分閉會云。

運送店員 第六回總會

臺北運送店員會。訂來二日午後七時。欲在蓬萊閣開第六回總會。當日將由會長楊盛氏。報告昨年會務及收支。協議本年度豫算。近因島內輸送貨物。逐年激增。店員倍於創立當時。會員已多至百餘名云。

栃木縣新那須山業組

內鮮滿貨輸送會議 小口貨連絡上利便

東京航空便。滿洲國成立以來。日本移民激增。滿洲國內。內地雜貨消費。逐年增加。國有鐵道。朝鮮鐵道。南滿鐵道。鐵路總局。連帶運輸。所當小口。一年多至六七千瓩(百瓩約一百六十斤)。各鐵道之間。此舉別無直通輸送規定。唯各國道區間各有規定。滿洲國內雜貨消費者。蒙貨負擔多額。內地中小商人發送。反多不便。此其改正。鐵道省。爲擧日來懇案。特招內鮮滿經濟共存共榮之實。去十六日。特招內鮮滿貨物連絡輸送會議。進日協議略已就緒。至本月末。可成協定。以便日滿輸送。該貨物連絡自社。去十六日起。於關之栃木縣新那須山業。
鐵道省運輸局貨物課長片岡謂郎。朝鮮鐵道局營業課長佐藤作郎。滿洲國鐵道部貨物課長江崎重吉。鐵路總局旅客課長小池文雄諸氏。相與出席。審議如左。
一、日滿間貨物小口所辨

東港戶稅成績

東港郡下各街庄。昭和十一年度前期分戶稅徵收成

臺東線內地連帶決定 半鐵參加航空連絡 圖貨切貨物運賃低減

鐵道部運輸課長小川嘉一氏。爲出席內鮮滿臺連帶運輸會議。並鐵道航空連帶輸送會議。出差東京。朝鮮兩地。去二十八日乘大型富士號機歸臺。據其所談。謂內鮮滿臺連帶輸送會議。開于東京市。鐵道航空連帶輸送會議。開于朝鮮。悉由鐵道省照料。故會議極見圓滿。且有效果。就中內鮮滿臺會議。臺灣米東線與內地連帶輸送。皆熱心討論。終以旅客貨物連絡。滿場一致決定。不久。見實施。而臺灣航路。手荷物料金。設計算方法。從來取客積負擔較輕。貨切連帶貨物運賃低減。欲與船會社研究。以期低廉。又在朝鮮之鐵道航空連帶輸送會議。通關關係。尙未參加連帶輸送。非常不便。今回設簡易入關便法。故新加入內地。朝鮮。臺灣。滿洲三者。因此得以連帶輸送航空路。

一、直通輸送之方針。
一、該直通運賃之決定。
一、直通輸送之規定制定方針。
以上第一日就直通輸送之方針。所採大連港中心之航路經由山之清津。羅津。雄基爲起點。日滿交通路所置之朝鮮鐵道。並鐵路總局。利害根本對立。將來運賃政策。有所影響或致紛糾。至擬定二十五六日至三十一日。延期一週間審議。以謀協定成立。然既滿鐵及鐵總局根本趣旨。既已諒解和就。會議結果。所堪期待。大體方針。確信如左。
一、內地朝鮮。滿洲國王通運賃。
一、貨物輸送。照最短距離。最低運賃。應發著驛決定。
一、互設辨理小口直要驛。
甲、省線。關釜連絡船朝鮮鐵道(安東經由)滿鐵。鐵路總局。
乙、省線。關釜連絡船朝鮮鐵道(清津經由)
丙、省線。日滿連絡船(門司大連經由)滿鐵鐵路總局。
丁、省線。北鮮航路(敦賀清津經由)朝鮮鐵道滿鐵。鐵路總局。
戊、省線北鮮航路(新瀉清津經由)朝鮮鐵道。鐵路總局。滿鐵。
一、辨理小口貨物。綿織物。綿絲。陶磁器。輕銀製品。玩具。生果等。不限主要小口品四十八種之範圍。務多包括。
一、照運貨輸送。昭和十二年一月一日。或四月一日起實施。

海員審判所 審理三件

遞信部之地方海員審判所。去二十八日上午九時開廷。于水番判長。瀨戶口。松末審判官。打狄理事官列席。就機船第二鐵丸與明神丸衝突事件。機船第二十六全進丸坐礁事件。機船第十二漁勢丸坐礁事件等。愼重審理。被告僅山本伴治郎出廷。其餘皆缺席。次打狄理事官。起述意見如左。
一、昭和十年九月十七日于基隆港內衝突。使明神丸左舷外板損傷之機船第二鐵丸事件。受有沿乙二免狀之山本伴治郎。長嶺重光兩人。各停止一月間。
二、昭和十一年一月十八日在彭湖列島八罩島西方坐礁之機船第二十六全進丸事件。受有沿乙二免狀之立脇勝三郎。停止二月間。
三、昭和十年七月十八日坐礁之機船第十二漁勢丸事件。受有沿乙二免狀之富山幸吉。停止一月間。至十一時五十分閉廷。訂來八月二十八日午前九時判決云。

村嫗行凶 斬媳婦情夫

七月二十六日午後七時半。埔里街苑茎脚人會氏參妹年六十六。在自宅用菜刀斬傷其媳婦魏氏蕊之內緣夫臘丁鄭明。年二十六。之左足腕。負深至骨重傷。急扶入隣近之保和醫院治療。加害者參妹。被拘於警察課審問中。問去年九月。參妹有河龍。入山挑失踪。家中日食難度。不得已將魏氏蕊。與鄭明同棲。由明供給生活費。其同棲以來。鄭明與參妹意見不合。參妹見明懶惰。即惡罵。欲將其逐出。鄭不忍。適二、三日前。明病下山。歸家療養。是日晚飯後欲出戶外之際。被其所斬云。

北門庄稅績 四年繼續完納

北門郡下各街庄之此期納稅。因各保甲極力督勵。去二十五日。由北門。西港。七股。將軍。學甲。佳里等各街庄之順序。先後完納佳績。而北門庄以本年爲四個年之繼續完納云。

蕃人與熊鬪 共落斷崖 悲壯而死

花蓮港鳳林支廳平林阿美族蕃人老岩。年五十。去二十六日午前十時頃。在去斜錨駐在所北方。約三籽山中狩獵中。遇一大熊。發射二彈。皆不中。熊狂奔而來。老岩遂猛然與鬪。左前脚部負爪傷。長十耗深二耗。逃歸平林療養所。應急治療後。昇入花蓮港醫院。然事爲該地五青年所聞。渠等必欲擒獲該熊。乃由斜錨駐在所借得銃三挺。彈十發。於是日午後四時頃。偏搜山中。在距駐在所約三里地點。發見該熊。即後一彈。亦不中。立即奔來。五名中一青年。與之格鬪。遂共顛落斷崖。深約三丈。青年左大腿骨折。悲壯而死。但熊亦即死云。

一言不合 鐵器傷人續報

臺南市濱町一丁目。林崑江陣。年二十九。去二十六晚八時許。因宋土木工金事。赴同町黃番根家。與黃次子黃來發。年三十。會談中。以語言不合故。竟起翻臉。卒至用武。與黃之四男黃進。年二十二。以鐵器打傷頭部。血遍地。傷達骨膜。乃急昇入西門町三丁目。北外科醫院救治。負創頗重。不知所之。雖當局極力偵緝。至二十八日。猶未就縛。出事當晚江頭部補平田司法主任。均至現場檢證。問其行兇原因。或謂黃父子。前曾以盜掘墓碑事被檢擧。疑於林。是晚林往理會。或謂林保代母索欠款起衅。現由署取調中云。

言前情婦 被用剪刀刺傷

北斗郡二林庄二林一九〇番地。黃定長男寅朝。年二十六。去二十六日。午後八時頃。偕三個傻、到庄中二林三二二番地陳清添裁縫店。藉言欲調製衣服。覗伺店傭人華錦黃和霖(年三十三)之情婦在店幫忙。則向同件之人言曰。此乃余之前情婦。時和霖在側。怒火心發。即詢朝曰。汝何時與他結識。他既在我處。乃我之權利。勿再多言。朝再種々强辭答他。和霖同夜有小飲。乘酒性發作。用銳利裁縫剪。刺他咽喉部。朝鮮血淋漓。急走到同地文山醫院。受施玉衛醫師治療。問其傷處。乃咽喉部長二仙米深三仙米。治療須二週間。警察接報。立拘和霖到案。現留置取調中云。

中毒事件 牡丹店主 負擔入院費

最近南寮濱海水浴場。臺北海遊會一行中。惹起辨當中毒事件。該辨當之責任者牡丹洋菜館主。深感責任。講究善後處置。去二十七日午後八時。該洋菜館臨時休業。實施淸潔法。並對罹病者入院費用全部負擔。以明責任。二十八日來訪本社及關係者。表惡惶之意。又館主森氏因中毒事件。提出始末書于南北兩署。及府食堂管理者云。

高砂公園 行商撤退問題 市當局强硬

屋報基隆市高砂公園淨化運動。至惹出行商人撤退問題。而置買人二百名。以爲生活問題。極力反對者。要求延期入港。須從速解決。右據基隆市山下助役意見。謂高砂公園內。有行商人置賣。本非有受市許可。亦無貸與土地之約束。惟得市當局。寬大默許之而已。而公園淨化。乃一般輿論。渠等理宜感謝從來。自爲撤退。但不退。且出爭論。至發表聲明書等。已無同情餘地。在市當局。亦受同風可惡託。乃出禁止。

某案進展 三檢察官 欲勾留高雄

高等法院檢察局下檢察官及臺南地方法院檢察局松尾。柳澤兩檢察官。各帶書記通譯。去二十八日午

新營郡產組 監事監查日程

新營郡下產組。監事之監查日程。發表如左。而各組合監查初日。有郡森脇商工主任臨席。注意其監查要項云。
新營八月一日起四日間。柳營三日起五日間。番社四日起四日間。店子口五日起四日間。菁寮六日起四日間。

臺北市書房義塾 教養本位漸鮮明 現有變更爲幼稚園

本島各地方敎在書房義塾之必要。原爲收容不能入學公學校之超過學齡子女。而課以國語漢文爲正科。然而近年來以次嚴禁存在。而臺北州下殊如臺北市。現尙存在。有志及國語普及向上。故中南部方面。自前年來。爲國體明徵。涵養國民精神。以書房義塾之存在。自不能付之不問。然市當局爲考慮種々事情。唯對經營者。時加注意。而不以嚴禁手段。第近爲順應時代潮流。企圖改善。自本年以來。對市內書房義塾等。周詳調查結果。發見有不少收容學齡兒童者。遂直促其內容改革。而書房經營者。亦體當局之存意。著々改善。如多收容未屆學齡及學齡兒童者。則變更爲幼稚園。以明其敎養本位。目下手續中有數家。如培英義塾。經營者李武常氏。援變爲幼稚園。遊戲場之借用及保姆傭入。略見設妥。修養齋房陵根泉氏。爲運動場未定。現正極力奔走。養學書房張家槐氏。爲教員保姆未定。他如修養齋房。亦各爲運動場未定。正爲考慮對策。其他亦多考究中云。

臺北高商旅行團 一名獨赴上海歸臺 爲無旅券受當局查究

臺北高商校松尾教授。率往香港廣東等處視察。團員中有一本島學生。不與一行同時歸臺。獨赴上海。二十八日朝歸臺。是日以基隆水上署旅券係。異常憤慨。召入該署查究。據該學校當局。亦許其別行動。且校長亦與之證明書。故該署保員。以與該校旅行團。前會提開公文封筒。屢次惹出問題。以欲斷然處分。或將留置查究。亦未可知。態度異常強硬云。

早覺會獻金

臺北體育團。健早覺會。照日前創立十二周年紀念會所決議。以金三十圓、獻納國防。去二十八日。由宋斌昌。林瑤丁二氏。提交憲兵分隊云。

會事

▲新莊公學校。訂八月二日午後二時起。在該校講堂內。舉行同窓總會。屆日有種々餘興。希望多數出席。
▲臺灣吟社。訂來二日午後一時。欲在林姓宗祠。開月例擊鉢吟會。
▲財團法人基隆佛教龍華會。八月二日。係爲盂蘭盆會。是日午前十一時。在基隆市山子頂大龍寺。舉行莊嚴式。是日並欲上祈聖壽萬安云。

人事

▲基隆郡暖暖街周鐘慶氏。去二十六日逝去。享壽六十有五年。訂來八月一日。午後一時假暖暖公學校。臨時祭場。舉行告別式。
▲日前世之元斗六郡村惆庄長黃杏村氏。訂來三十一日午前八時。在虎尾溪自宅。舉告別式。

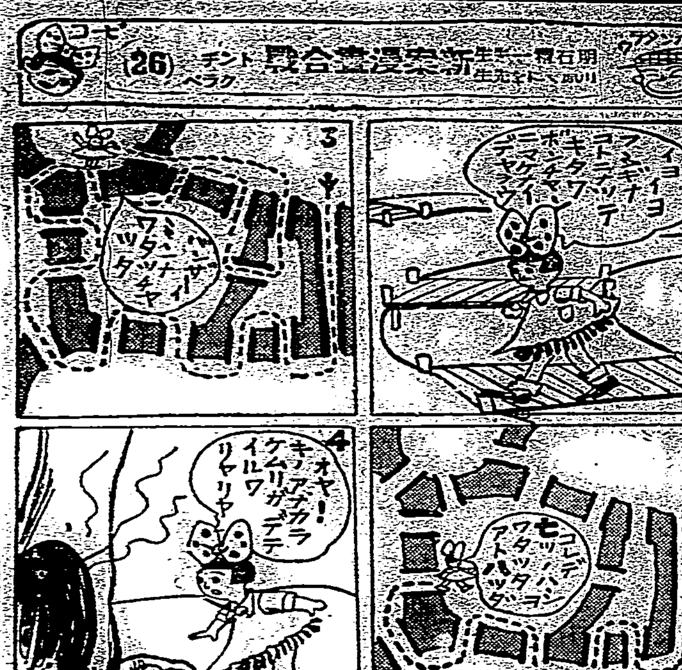
臺南

寄組々合

臺南市水樂町。集出如甲役等。因之相組繁盛。爲競爭之弊事。今回不斯。衆者。爲衛生能事。及防競爭故。日前在滬仙閣開總會。决組織同業組合。茲定來三十一日。許可假臺南署既上。開創立總會協議一切云。

署員召集

臺南署。以二十八朝七時起。行定期召集。署轄內職員。齊後。先行檢點。操練至八時告終。乃由局署長引率往安平海水浴場。水泳演習。下午開懇親會云。



商況(廿九日)

米況

正米市況前場 [illegible]

期米

大阪期米前場 [illegible]

東京期米前場 [illegible]

神戶期米前場 [illegible]

株式

大阪短期前場 [illegible]

大阪長期前場 [illegible]

東京短期前場 [illegible]

東京長期前場 [illegible]

東京銀行實券 [illegible]

公債

東京國債前場 [illegible]

紐育株式 [illegible]

爲替

外國爲替相場 [illegible]

神戶對外爲替 [illegible]

肥

シカゴ小麥 [illegible]

神戶豆粕 [illegible]

大連特産前場 [illegible]

砂糖

玖瑪 [illegible]

爪哇 [illegible]

大阪現物 [illegible]

大阪清算 [illegible]

銀塊

[illegible]

絲況

大阪綿絲 [illegible]

大阪棉花 [illegible]

大阪人絹 [illegible]

橫濱生絲 [illegible]

臺灣日日新報
日本夕刊共十二頁
發行兼編輯人　佐々木
臺北市

大阪商船出帆

◎基隆出帆
神戶行
門司行
福州上海行
廈門・汕頭・香港行
福州廈門行
博多・北九州行
沖繩行
基隆花蓮港行
西貢・海防行
上海・青島・大連・天津行
東京直行
其他

近海郵船出帆

門司神戶行
吉野丸　八月二日
大和丸
山上丸
白山丸
伏見丸

國際汽船出帆

大連汽船出帆

內地行
桐葉丸　八月上旬
大連直行
山東丸
山西丸
代理店　丸一組

第拾期決算公告

(昭和十一年六月三十日)
貸借對照表
資產之部
負債之部
合計

第參拾貳期決算公告

貸借對照表
資產之部
負債之部
合計

臺灣勸業無盡株式會社

第四回決算公告

昭和十一年五月三十一日
東海自動車運輸株式會社

臺灣瓦斯株式會社

改造 八月號

人民戰線內閣の對內外政策　熊本直清
支那共產軍最近の動向　中村常三
暗黒時代のロシア　チエンバレン
國策の氾濫と國策閣議の停頓　入澤文明
伊・エ紛爭の終了　横田喜三郎
聯盟改造問題とその動向　高橋清三郎
ソヴエート憲法改正の意義　秋山憲夫
獨墺協定を繞る列强の對立　鈴木東民
「文學」宰相ブルーム　內山敏
文豪ゴリキーの死　植村慶千代
蒙古路の旅　後藤富男
支那文壇の抗日統一戰線　菊池勇

東京麹町區丸の內三ノ二　日本外事協會發行

蚊、蛇、毒蟲、南京蟲、ムカデ、蚊等にも是さへあれば
(說明書進呈)
鳩居堂

廣告界 商店界

夏枯れ新對策　八月號は何をなすべきか
夏枯れに對する精神的用意　上野陽一
商工修驗道　—心商社會光明觀—　藤巻治吉
アメリカ百貨店婦人店員の指導法　加藤孝太郎
オール店員統制術　小沼昇
何故賣れぬ、何故買はぬ　水木芳雄
百貨店の虛を衝く　岡田徹
ナチス治下の百貨店　小穴毅
百貨店の求める人　京谷大助
百貨店沒落して專門店時代來るか　末次良輔
商品の選擇と正しい仕入法　渡邊敬次郎
斯うした菓子店は必ず繁昌する　高山洋吉
これを買った人は得だ
萬引豫防の具體的方法　倉本長治
涼しい旅をしながら儲かる移動店舖の話
日本料理屋繁昌記
近代的な商店照明　川島喜一
新しい陳列窓の飾り方
商店內外の手入れと掃除法　増田健三

ポスター製作ABC　多田北烏
ハイライト・プロセスの原理　竹添廣三
文案と圖案の構成要點　濱田增治
素晴しいアイデヤは斯うして生れる
ガラスと照明の問題　山本良夫
近時廣告片々　宮山峻
小型廣告の新傾向　佃正夫
スローガン一家言　長田恒雄

店頭・涼を呼ぶ創作圖案
八月號・定價五十八錢　送料二錢

最新刊・廣告界編輯部編
廣告界圖案集
廣告策戰の經機關銃・スプリング綴の素晴しい美本
一圓二十錢

商店界編　賣出商略三百六十五日　一圓二十錢
藤巻治吉著　商略大觀　一圓五十錢
最新刊　倉本長著　一圓廿五錢
新しい外交販賣

英米の外交販賣に關する十數種の著書の長を採り、我が國外交界の第一人者の體驗を探り、これを統一綜合して一書となしたものが本書であつて、どこまでも實際的、あくまでも實益的、その明快な記術は必ずや讀者をうならさずにはおかないであらう。一頁讀めばそれだけの利、一日早ければそれだけの長。一讀即ち成績向上となつて現はれる

新刊　倉本長治著　## 新しい商店實務　定價一圓廿五錢
新刊　倉本長治著　## 新しい商業書簡　定價一圓廿五錢
新刊　倉本長治著　## 新しい小賣店廣告法　定價一圓廿五錢
新刊　倉本長治著　## 新しい仕入法　定價一圓廿五錢
清水正巳著　## 年六回轉經營法　定價二圓
清水正巳著　## 宣傳術と販賣術　定價二圓
西川濟二郎著　數字が示す　## 商店經營法　一圓廿錢

圖書目錄進呈
神田錦町一丁目
誠文堂新光社

王冠 赤十字 葡萄酒

臺灣總督府　陸軍衛戍病院　傳染病研究所　其他各地病院　御用

潑剌たる健康!

既に定評ある赤十字は我國唯一の純粹藥用葡萄酒でありまして、虛弱者は勿論健康者も

食前に一杯!

飲用を續けますれば著しく食慾を進め血を增し肉を肥して潑剌たる健康を保持することが出來ます。特に產前產後の婦人に好適!

増血補腎純粹藥用葡萄酒
飲用赤十字之作用因本藥稻大榮養素能增胃液完全推行消化力增血補腎更治
氣弱血衰、精神恍惚、身體疲勞、四肢無力
胸隔痞塞、飲食不進、頭目暈眩、面瞼黃瘦
咳嗽生痰、唇焦口燥、遺精盜汗、經水不調
特爲產前產後婦女飲用補血滋强治去惡阻
婦健兒强之大靈藥也
▽代　售　全島到處各藥房各洋酒舖

精力體力の旺盛を望む人に!
潑剌たる健康美を欲する人に!

進物御贈答用に極めて體裁よく、便利重寶であります。

全島到處の著名藥店洋酒店で販賣してをります

工藝美術の振興策に就て

一、工藝指導所は是非持ちたい

且下督府中央研究所の工藝部の技術官を招聘して[illegible]技術者の養成と相俟つて[illegible]以つて我が島の工藝品[illegible]の向上と發展とを圖らんとする[illegible]

二

[illegible]工藝といへばその範圍極めて廣く、[illegible]美術的方面を除き產業としての工藝方面のみを考へても金屬、木工、竹工、籐細工、サンゴ石工などあり、近く開かれんとする[illegible]木工藝はその一部に過ぎない。[illegible]

[illegible]夫々力を盡さねばならぬことを思へば一口に工藝美術の振興といつても容易なわざでないことが知れるであらう、これは技術の指導を島外の人に仰いでゐるためであつて、斯くては學校に於ける所謂出張講義にも似てその實效を收めることは甚だ困難である。

三

そこで要は臺灣自體に斯道の專門家が居つて、その優秀技術を間斷なく島內に浸潤注入するのでなければならぬ。由來現在の臺灣としては其業者の養成もさることながら、之が指導者を得ることに努めねばならぬ。而して斯くの如き人物が臺灣にゐないとすれば、宜しく之を島外から招聘し、永住者として臺灣の人になつて貰はねばならぬ。茲に於てか自然に必要となるものは之等の專門技術者を常時抱容するための機關であり、即ち臨時的ならざる恒久的なる府立の工藝指導所ともいふべき機關の設置は是非とも必要である。此件に關しては從前とても一部識者により提唱され、總督府當局にも建議されたのであるが、未だに實現の運びとならず、却つて新竹に設置した水產試驗所が早く實現した樣な次第である。

四

顧つて教育界に於ける近年の傾向を見るに、徒らなる抽象論の講義よりも實際教育を重視しつつある、[illegible]實際に臨むある役に立つ人物を要求するに至つたのである。[illegible]職業學校[illegible]實業に飛び込み得る樣な人物の養成機關を設けたことは時宜に適する措置であつたし、茲にいふ工藝指導所の如きも亦全く之と同趣旨に於てその誕生を期待するものである。

五

さてそれならば臺灣の工藝には[illegible]

[illegible]材料はあるか。此の點に關しては原料、材料は豐富なるものがある。[illegible]

各省の國策、續々水平線下に脫落

三大原則決定の結果として 國策閣議紛糾せん

【東京二十九日發】政府が企圖する重要國策は大體三長官の間に國防充實、產業振興、國民生活安定の三大原則に基く事に決定、廣田首相[illegible]の國策は遂に國策水平線上より脫落するに至つた[illegible]

租稅收入激增す

本年度自然增收は七千萬圓を突破か

【東京廿九日發】大藏省發表五月末現在に於ける昭和十年度國庫現計に依れば租稅收入は八億九千九百七十九萬九千圓にして前年度に比し五千六百七十二萬七千圓、十年度豫算に比し七千百九萬八千圓を夫々增加してゐる。五月末現計は租稅收入に於て殆んど決算に等しい數字である點より推せば本年度に於ける自然增收は七千萬圓を突破する事は愈々確實となつた譯である而してこの自然增收の額は九年度歲入の實額たる六千七百萬圓に比較すれば既に四百萬圓の增加であり所謂軍需インフレ景氣の存續を實證せるものと云ひ得べく今後の租稅收入に於ても尙相當の增收が豫想されるものと豫想される

昭和十年度歲入歲出現計左の如し(單位千圓)

歲入

經常部 一、二九七、三六八

臨時部 八四七、四四九

計 二、〇四四、八一八

歲出

經常部 一、二五八、〇八〇

臨時部 九三七、三七七

計 二、一九五、四五八

我公使館並に在留邦人は無事

漸く第二報到著

【東京二十九日發】スペイン革命に對する矢野駐西公使の第一報は去る二十二日外務省に到著したのみでその後の消息一切判明せず在留邦人の安否も氣遣はれてゐたが二十日マドリッドに在る岡島一等書記官からの第二報が外務省に到著し公使館、在留邦人の安全なことが確實となり漸く愁眉を開いた。[illegible]革命勃發當時矢野公使は臨時[illegible]等書記官、橫田書記生の家族と共に動亂の渦中に投ぜられたサンセバスチアンに避暑中であつたので各國外交團と共にマドリッドとの連絡斷たれ今日に至つてゐるが一同無事である マドリッド公使館には目下岡島書記官以下館員並に大阪外國語學校[illegible]

ペルー、排外法令公布

邦人移民の入國は絕對禁止か

【リマ二十八日發同盟】ペルー政府は六月廿六日大統領令を公布、在留外國人數を限定し且つその營業を禁止したが、右法令の施行に依り在留邦人は二千萬圓以上の損害を蒙り且つ日本人移民は入國絕對禁止の厄に遭ふものと見られる、在留民は過般來ペルー政府當局と再三折衝を重ねてゐるが交涉が重大危機に瀕した爲め來る八月二日リマで在留民大會を開催重大決議を採擇してペルー政府の反省を促す事に決定した

政權を握れば佛と國交斷絕

革命軍のクエイポ將軍が言明

グワダラマ峠を完全に占據か

【パリ二十九日發同盟】スペイン內亂の情報は區々に分れ眞相把握出來ないが、モラ將軍麾下の革命軍は既にマドリッドの北門グワダラマ峠を完全に占據したと傳へられる。革命軍のクエイポ將軍は革命の成功を確信し二十七日發右翼ラ・リベルテ紙のカサブランカ特派員によれば同紙記者に對し左の如く言明したと傳へらる

グワダラマ峠を占據した結果革命の成功は確實と確保された、フランス政府がスペイン左翼現政權を陰に陽に支持援助してゐることは言語道斷である、フランス政府が軍用機その他の軍需品をスペイン政府に供給した結果革命軍は多大の損害を受けた

臺灣の化學工業・座談會 ⑩

バクテリアを大に利用したい

學者の好研究題目

加福 次はお茶の事について[illegible]山本さん……

山本 お茶は御承知の樣に臺灣では只今は北部の產出が多いのですがよく調べて見ますと臺灣の中南部にかけましても茶の栽培ができるのでありますが五千尺以下の山地なら至る處に茶が出來ませう。既に自然茶もありますし、將來はこの方面に中南部の山地に向つて發展して行くだらうと思ひます

それで臺灣の方針としましては以前は烏龍茶及包種茶を主にやつて居りましたが人の嗜好は段々變つて參りますので烏龍茶、包種茶許りでなしに世界的に需要の比較的多い紅茶に移り變つて來たのです。それで內地綠茶に就て申しますと明治四十年頃から大正元年頃には綠茶が米國に約二千萬ポンドも出て居ましたものが只今では一千萬ポンド位に減じて居ります。烏龍茶でも矢張り二十年前と只今とは輸出量が違つて居ります、之の原因は色々あります、粗製濫造の爲めでもありますが、どうしても人の嗜好の變遷から外國へ賣つて貝れないから仕方がない一方紅茶を見ますと世界の需要の約八十パーセント[illegible]

[illegible]セントは紅茶で押へて居ります。從つて多少安くても紅茶であれば賣れると云ふ樣な關係になつて自然それで臺灣でも方針を變へて紅茶を造らうと七、八年前頃からやつて來まして一昨年の如きは久し振りに一千萬圓を超したと云ふ譯でした。昨年は少し違つて紅茶と烏龍茶は均等になつて來ましたが今年は紅茶は大變よいと云ふ状態であります何れにしましても紅茶は段々芽を出して來まして中南部の方面に於いて之から發展し[illegible]狀態になつて居ります。そこで問題は品種であります[illegible]種々な品種で紅茶には[illegible]アッサム種でも綠茶は出來ます[illegible]品種に依つて各々香氣[illegible]

[illegible]色に特徵が有ります故に內地の樣な綠茶用の品種で紅茶を作りましても、一々製造法は段々向上してゐますが紅茶としてピッタリ合はない。それと同樣で臺灣の烏龍茶や包種茶用の品種を以て紅茶は出來ますが印度種の樣には行かぬ

國家百年の計を考へると矢張り臺灣獨特の紅茶用品種が必要だらうと思ひます。又內地の紅茶[illegible]

[illegible]種の改良育成をやつて行かなければならないと思ひます

加福 次は一番小さい微生物のバクテリアについて……

中澤 先づ非常時の事を考へて見て微生物がないと云ふ樣な時にバクテリアを利用して空中の窒素を摑まへさせてそれを利用するとか酵母を培養して蛋白質を作らしてそれを人間の營養[illegible]

それから夢の樣な話ですが我々の研究の目的として考へてゐるのは地球の土壤と云ふものは地殼が熱で崩されてそれが段々冷めて來て今日の土壤が出來たのですが、之を人工的に崩してよい土壤を造ると云ふ樣にその過程を早くやつて行つたらもつとよい土壤が出來るのではないかと云ふのです 昔臺灣島が噴火した時にそこに出來る土壤について[illegible]

[illegible]

それから新聞にもありました樣にアルコールをガソリンに加へて(之は小川さんの問題に關係するか)アルコールを蔗糖で六十萬石作れと云ふ事は酒が造れないか人間の方の澱粉はどんなにするかと云ふ事は食糧問題で今考へて見ます所で五萬石のアルコールを作る工場が十二ヶ所必要で、そこで醱酵に從事する技術者の培養と云ふ事は何うするか、それからその原料として何を使ふか、先程濱口さんから色々お話があつたのですが甘藷を使ふのがよいか米を使ふのがよいかに大いに考慮すべき問題です。その外に泥の中に居るバクテリアを色々利用して[illegible]

座談會出席者

中研技師理博	加福	均三
同上農博	中澤	亮治
同上	濱口	榮次郎
帝大教授	市川	信敏
帝大助教授	松野	吉松
同上	中塚	祐一
帝大教授農博	山本	亮
同上農博	三宅	捷
帝大助教授	鶴岡	松雄
專賣局技師理博	池田	鐵作
天然ガス理博	小川	亨

英・ソ間に借款成立か

總額は一千萬磅

【ロンドン二十八日發同盟】ロンドン消息通の傳へる所に依れば英國政府とソ聯邦政府との間に二十八日左の如き條件を以て借款が成立したと云はれる

一、總額 一千萬磅

一、期限 十ケ年

一、利子 五分半

嶺田財務局長島內視察

嶺田財務局長は來年度豫算編成前の小閑を利し島內視察を兼ね二十九日夜行にて次の日程にて島內視察の途に上つた

▲二十九日夜發、烏水溫泉の上澁中泊▲三十日南投、二水驛臺の上高雄へ▲三十一日屏東驛臺の上四重溪泊▲八月一日四重溪發臺東驛臺着▲二日臺東驛到本泊▲三日花蓮港着▲四日花蓮港發臺北着▲五日臺北着

中山事件公判は遂に無期延期

我が出先官憲大憤慨

【上海二十九日發同盟】中山兵曹射殺事件に對する法院の態度は益々不正を極め捜査中に行はれた證人訊問への法廷に支那人記者を入らせしめ更に被告側弁護人に之を通知せずして行はれた實地檢證なり支那人新聞が支那新聞記者に通知して而も不法の記事を掲載せしめ更に三十一日の最終公判を上部よりの壓迫で無期延期と決定した

この重なる不誠意に對し我が出先官憲は極度に憤慨して居り今明日中に法院當局と會見し事件の重大性を說き法院が反省して態度を改めざる限り日本側としては法院を信頼する能はずとの斷乎的申入れをなすこととなつた

北支文治派に不安と動搖

國府の中央化政策で

【北平二十九日發同盟】北支に於ける支那側政界の重要人事の任免は昨年六月梅津、何應欽協定に依つて日本側の諒解を必要とし、殊に冀察政務委員會の成立以來冀察兩省の人事は南京より獨立する建前を執つてゐたが最近の實例は殆ど北支重要人事の全部を擧げて南京の直接任免に依つて行はれ形勢は全く逆轉し來つてゐる、この傾向は王克敏氏の北上以來遂に積極的となれる南京政府の北支中央化政策に巧に利用され今や北支文治派の地位に多大の不安と動搖を與へてゐる、右は中央策を弄つてゐるが既に中央勢が北支工作の上に重大影響のあるを物語るものであるが我が出先よりも事態は重視されてゐる

中央の北支侵入山東に及ぶ

韓復榘の態度注目さる

【青島二十九日發同盟】北支中央化に乘出した蔣介石氏は早くも山東省に其の手を延ばしてゐるが目下中央軍は韓復榘氏の第一師を徐州に、第十六師を蘇州に大々移駐し江蘇、河南兩省より山東を脅迫する態勢を執つてゐる、韓復榘氏としては目下廣西の動亂に依つて對中央策を練つてゐるが既に中央勢力の山東侵入の形勢は如何とも爲し難い情勢で、蔣介石氏としては結局山東省政府の改造、重部の復活等に依り山東より韓復榘氏並に其の勢力を追出す事に出づるものと豫想され、これに對し韓氏は如何なる態度に出づるか山東の形勢は近く重大變化を免れ難い形勢であるへてゐる、右は

一、冀察政務內部に南京派、反南京派の對立乃至第二十九軍直系傍系の對立が激化し宋哲元氏に之を統制する力量なきこと

一、南京派の勢力擡頭と共に日本提携の傾向が濃厚化して來たこと

船車發著表 八月分配布

附錄として八月分船車發著時間表を一般讀者に無代配付した

高宗武氏きのふ川越大使を訪問

日支經濟提携問題を中心に支那側の意圖を傳達

【上海二十九日發同盟】國民政府外交部亞洲司長代理高宗武氏は外交部長張群氏の代理として二十九日午後三時川越大使を訪ひ日支經濟提携問題を中心に諸懸案の交涉に關する支那側の方針を傳へ更に中山事件、萱生事件、王克敏氏の北上についても張群氏の意向を傳へ午後三時辭去した

國策の方向を政府に進言

政友聯合協議會で意見を交換の結果

【東京二十九日發】政友會は廿九日午前十時より幹事長室に於て總務、政調會長、幹部合同協議會を開き現內閣の實際政策を檢討し如何なる方向を政府に進言すべきかに就き意見を交換し協議の結果、[illegible]容を如何に決定するかに就き意見交換の結果、交涉の緊迫化した時局下の外交問題を批判して進言し之が實現を迫ると言ふ事は適當でない。國策の指導的方向を示して政府が非常時に對處する根本態度に誤りなきを期せしむべきであると云ふに意見の一致を見た。依つて右根本國策の樹立を主眼とする國策進言案を內定し午後三時散會した

ペイン各當局に公使館の保護方を要求して居いた尙ほ動亂の前途は全く不明である

造兵廠官制其他も改正

【東京二十九日發】陸軍では本省官制はじめ步兵、騎兵、砲兵、工兵各兵科學校令改正を行つたが更に造兵廠官制、工科學校令、軍醫學校令、補充令改正を二十九日官報で公布し八月一日より施行されることとなつた

政府の閣議で來る八月二日のクーデター決行説が傳へられ仏政府が革命軍が一度政權を把握した曉には直ちにフランス政府との國交を斷絕するであらう

芳澤氏一行鹿島立

【東京二十九日發】八月十六日からカルフオルニア州ヨセミテ國立公園に開催される第六回太平洋會議に出席する芳澤元外相、阪西利八郎中將等一行五名は二十九日午後橫濱出帆の大洋丸で鹿島立つた

陳氏の外遊說誤傳か

【香港二十九日發同盟】陳濟棠氏の外遊說は二十八日夕刻突然に宣傳されてゐるが、右はその兄陳維周、區芳浦氏等十名が二十八日フランス汽船ジョッフル號で欧州に向つたのを誤傳したもので陳濟棠氏は依然香港に潛在中であると

赤糖聯合會の重要案件協議

きのふ理事會を開く

臺灣赤糖聯合會では二十九日午前十時より江山樓にて理事會を開催理事九名の外臨時山本臺灣會長及團長五氏の代理人等出席し、左の重要案件につき協議した

一、赤糖の蔗糖移出を本年七月末迄に完了すること

二、重要物產同業組合法による赤糖同業組合設立の件

三、赤糖の共同販賣會社設立に關する件

四、製糖場取締規則改正方請願の件

五、砂糖消費稅改正方請願の件

右の內赤糖の蔗糖移出に就て二本期の赤糖生產高は三十五萬、二千擔內一月一日以後の生產高は約三十萬擔で、その三割、九萬擔は既に移出出來たが、未だ移出を完了しない移出糖は[illegible]に代りしても移出を完了することに決定、同業組合設立と共販會社に就ては各州赤糖聯合會から二名宛委員を出し設立の促進を圖ること、製糖場取締規則改正は赤糖製糖業者が新式製糖の區域外にあるので勵もすれば新式製糖の爲めに製糖業者を壓迫されるので之を防止するやう規則の改正方を當局へ請願すること、砂糖消費稅改正に就ては赤糖の舍用を上げるやうに當局へ陳情することとし右二案の實行委員に各州委員より實行委員一名づつを選ぶことにし午後三時散會した、因に赤糖同業組合法による赤糖同業組合設立の上は赤糖聯合會を解散することになつてゐる

漁業條約に付大田大使交涉

【東京二十九日發】太田駐ソ大使は二十八日離國に先立ち廿六日ストモニアコフ外務次長と會見漁業條約問題に關し最後の交涉を爲した、右二十九日外務省に公電があつた。太田大使は漁業問題に關する條約問題は種々協議の結果、漁業定規の實施を更に延長するの交涉をしたが、而して大使は此處又は二年ヅ、ツ[illegible]ことに努めたが[illegible]れ以上は困難であり、又暫定制度廢止問題も現行條約を變更する事は容易ならざる旨說明し依然前途に難點あるを豫想せしめた、更に大田大使はアリガツルスコイ營業者專門委員會が停頓してゐるのは[illegible]と申入れ[illegible]同委員會の開催を要求して置いたが大田大使の歸朝如何に拘らず適當の[illegible]

人事

▲藤田一氏 二十八日來北

★シナチク★

民政黨の田中武雄、勝田永吉、政友會の太田正孝、八角三郎の四代議士はそれぞれ一組で連立つて渡臺の途に就いたのであるが、二子四日神戶で瑞穗丸に乘船するとばつたり會ひ「ヤアヤア」と言ふやうな事で政、民仲良く渡臺して十八日から民政組が西部に出かけたか、政友組が西部を南下して行き、民政組は東部から南廻りして西部に出る事となつた▲四人とも渡臺では既に顏馴染ではあり殊に政黨更生を意氣込んでゐる折柄でもあり其の旅行振りは仲々熱心であるといふ、二十八日前市に長がある

[illegible]

醫員招聘

內地人醫師(年齡二十五歲以上四十五歲迄)內科臨床二ヶ年以上經驗者、保險醫學研究希望者

臺北市本町一丁目 明治生命

臺灣專賣局御承認

煙草販賣の大革命

近代的陳列煙草販賣機現はる

代理店募集 希望者は御照會をこふ

本機の特長!

一、本機はハンドルを引くことのみにより何人にも容易に取扱はれます

二、機入れは背面より一重に機む事が出來ます

三、下部より一個づつ飛出る構造なるを以て古きより先きに賣れ常に新しき品を販賣する事が出來ます

四、內部は破損し易きものを用ひざる故永久の使用に耐へます

●東京煙草小賣人組合聯合會、各地煙草小賣人組合より御推賞を受く

發賣元 臺灣一手 永沼商會基隆出張所

棚卸のため本日休業仕候

榮町 ㊤菊元

電話代表四二五〇番

州衛生課細菌檢査所試驗濟

◎沸騰ト冷凍 二重殺菌法ニ依ル 絕對安心シテ召上ガレル

高級 ヒカルキヤンデー

特製 アイスクリーム

東京岡本式冷凍機…販賣實演所

配達迅速

榮町貳丁目拾貳番地 ヒカル商會

御用命ハ…電話〇貳四番

銷夏隨筆 「…」を聽く (8)

一、新財源調達の急如何、理蕃施設、增設は何か急務か
二、臺灣の希望に對する内地（國内）
三、ボロ儲けと大損物語（蟹に限る）
四、私の感謝と不平（臺灣生活に於ての）
五、私の座右銘、健康法、趣味、好きな人物

臺中 服部仁藏

一、新財源調達
營業收益稅、郵便料引上、三十キロ以上の交通稅、不用官有財產拂下げ

二、臺拓への希望
熱帶植物の擴張栽培、漁業擴張、農事水產、[illegible]

三、ボロ儲けと大損物語
儲けた事なし、損はしたが言…

四、私の感謝と不平
イ、感謝
臺灣に於て原始生活の人類と、發達せる文化社會を併せ見るを得たる事
僻り臺灣ならざる臺灣に於て、熱帶植物の動植物に入りたるが如き趣味を満喫した事
ロ、不平
臺灣に於ける二十餘年の生活斑に其後の經過に腹の決め得ぬ方

五、私の
イ、座右の銘
良心者不尖、To day is the best day
ロ、健康法
腹八分目、早寢早起
ハ、趣味
囲碁
ニ、好きな人物
ムッソリーニ

臺南 陳啓峰

▽…（本文寄稿者は元新竹州知事現在臺灣農會の幹事です……）

一、新財源調達
現在施行の收入印紙稅
　一圓迄のもの　四錢
　三圓迄付のもの　六錢
　都債切手
　三圓迄付のもの　六錢
　一圓五圓迄付のもの　三錢
即ち倍額に増額すること
　二割増加のこと
尚は現在施行の酒造稅は…

二、臺拓への希望
各會社社長を設定するに社長、副社長の任期は五ヶ年間理事の任期は二ヶ年間とあり社長、副社長の任期五ヶ年間は結構なるも理事任期二ヶ年間は餘りに短期間の樣に思はれ…

の性質上社長副社長の任期同樣五ヶ年間か適當かと考へます[illegible]

四、私の感謝と不平
我々の現在地を高くして疑獸樂に従事し居らるるは畏多くも我が皇室の御稜威に因るは勿論歷代總督長官閣下陸海軍の援護並に島民各位の御援助に因る賜ものにして日夕深甚の感謝…

五、小生の健康法
健康法としては取り立て申上げ兼ねますが起床と同時に五分間の深呼吸…

利害反致でグラつく 大英帝國經濟ブロック

大衆の生活壓迫を楯取って 錫蘭が協定を澁る

【東京二十九日發本社特電】英政府は日本綿布の輸入制限に際して一九三四年五月以來の英本國と英領植民地の立場から自國の商品が對抗手段として日本商品を[illegible]…

…し英本國と交渉する事を條件として始めて同意を表明するに至った…同島政府は二月一日を…

[illegible]

總督府蕃地開發調查隊

奧田臺大教授を首班に愈々入山

大學と殖產、警務兩局のコンビで 豫備調查に著手する

本年度より施行することとなった山地開發調查は官邸の關係上未だ具體化するに至らぬが、殖產局森林課長…

準備調查　を進めて居り、既に四月より五月にかけて臺灣、臺中、新竹、臺南の三ヶ所…

長代理、農務課鈴木技師、殖產局技手其他關係官參集し打合せをなした…

蕃地一圓　を隈なく踏査したる上一先づ臺北へ引上げることとし、第一次に八月二十八日より九月十四日迄十八日間新竹州竹東より入山…

…グラン、イバホ、人齡一帶を踏査の上臺北の豫定である。…

山地開發　の調查を如何なる方法に依ってやるのが最も效果的であるかを決定する…

爪哇糖の對日賣約成立說

【ジャワ二十九日發本社特電】ジャヤからの驀所入電によればエヌエス社は蘭領十七社と十七仙安で五百噸日本向けに賣約成立が傳へられた。之は昨年十二月以來初めての取引の…

内、鮮、滿貨物の連絡輸送會議

小口扱貨物の輸送に福音

【東京發朝電報】國有鐵道…日本移民、滿洲に於ける内地製品貨物の消費は逐年増加し國有鐵道、朝鮮鐵道、滿鐵及び關東局が…

冲帶運輸　をなしてゐる貨物小口扱ひに就いても一ヶ年六千萬トンを超す…

埋藏量一億噸の炭田開發計畫

竹南南庄間鐵道敷設が先決と 同地方民が總督府に陳情

新竹州竹南から南庄迄は軌道（十大哩）の敷設があって唯一の交通機關となってゐるが、竹南より十二哩を距る獅頭山には現に年約三萬噸の石炭を產し南庄及び林濱次氏の手で採掘搬出せられてゐる外南庄一帶には推定埋藏量一億噸と稱せらるる優良炭層があり交通運輸不便の爲め採炭しても採算引合はず…

經濟的な深耕農具

カタピラトラクター日糖で購入

從來各製糖會社の耕地等に於ては主として畜力の…ヒースプラウが利用せられてゐたが…

牡蠣養殖法に棚式を採用

從來の割竹よりは遙かに有利 臺南水試で成功す

[illegible]

肥料の滯貨一掃に鐵道部が躍起

相當時日を要する模樣

高雄港に於ける肥料の滯貨は地元の努力で[illegible]…

期米は戾ったが蓬萊米は崩落

灰汁抜け未だしの感

期米は二十七日東京三十三圓二十錢、大阪三十三圓二十一錢…

羊毛買付に三菱が南阿へ

【神戶發飛行便】濠洲羊毛に代る…

無盡會社總會終了

總て原案通り可決

臺灣無盡會社の第二十二期株…

東西南北

[illegible]

臺灣瓦斯定時總會

配當八分可決 監查役は重任

臺灣瓦斯會社總會は二十九日午後一時市内榮町の同社で開催…

商況（廿九日）

臺中米價

島内米肥

臺米現物相場

基隆在庫米

高雄在庫米

正米市況後場

島内肥料相場

期米

大阪期米役場

東京期米役場

神戶期米役場

堂島兩建控除倶合

堂島前場先限主なる手筋

堂島前場先限兩建控除主なる手振

堂島米況前場

堂島米況後場

堂島雜觀

株式

大阪短期後場

東京短期役場

東京長期役場

東京株況前場

東京株況後場

大株雜觀

爲替

臺銀建値

絲況

大阪綿絲

大阪棉花

大阪人絹

橫濱生絲

砂糖

大阪精糖

穀肥

神戶豆粕

大連特產前場況

[illegible]